

「西東京市子ども会議」 実施報告書



西東京市子ども会議

令和7年3月
西東京市

目次

1	概要	1
	(1)目的	1
	(2)企画協力	1
	(3)参加者	2
	(4)スケジュール及び実施内容	3
2	各回の実施内容.....	4
	Day1（7月14日(日) 10:00～12:30)	4
	Day2（8月3日(土) 10:00～12:00)	7
	Day3（8月4日(日) 10:00～12:00)	10
3	アンケート結果	23
	(1)子ども	23
	(2)大学生	25
	(3)子ども会議見学者	27
	(4)子ども会議関係者	29
4	子どもへのフィードバック	30
	(1)子ども会議後のフィードバック	30
	(2)フィードバックへの感想	38
	(3)計画案の確認.....	39
	(4)計画案(子ども版)への感想	40
	(5)計画への反映.....	41
	(6)子ども版の送付.....	43
5	関連資料	44

1 概要

(1)目的

「第3期西東京市子ども・若者ワイワイプラン」(令和7年度から令和16年度まで)に掲載する取組に子どもの意見を反映するため、子ども自身が子ども施策について考え、意見を表明する機会として子どもワークショップ「西東京市子ども会議」を開催しました。

(2)企画協力

開催にあたり、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部高松宏弥ゼミ及び武蔵野大学フィールド・スタディーズ「子どもが暮らしやすいまちづくりプロジェクト」履修生のご協力をいただきました。

大学生は、西東京市の子ども施策や「西東京市子育て・子育てワイワイプラン(後期計画)(令和2年から5か年)」の基本理念、「西東京市子ども条例」を数回にわたって学び、今回の開催目的を達成するために必要な企画を提案いただきました。「子ども会議」という名称も大学生からの提案です。

また、大学生との議論には、「西東京市子ども子育て審議会計画専門部会」の部会長及び委員にも参加いただいて、準備を進めました。

大学生は、ワークショップのテーマや内容、広報チラシや当日の説明資料等を作成しました。また、当日は、西東京市子ども子育て審議会計画専門部会委員、西東京市子どもの権利擁護委員や子どもの権利擁護相談・調査専門員、児童館職員などが、大学生の運営をサポートしました。

(3)参加者

市内に在住または在学の小学校4年生から18歳までの子どもを対象に公募し、30人が参加しました。

学年	人数	学年	人数	学年	人数
小学4年生	8人	中学1年生	4人	高校2年生	1人
小学5年生	10人	中学2年生	2人	高校3年生	1人
小学6年生	1人	中学3年生	3人		

<小学生用 募集チラシ>

キャンパスツアー等
アクティビティ
もあります！

西東京市 子ども会議

みんなで作ろう、住みよい街

開催日時 (1日目) (2日目) (3日目)
2024 **7.14** (日) **8.3** (土) **8.4** (日)

10時～12時 (1日目のみ終了が12時30分となります)
※全日程にご参加ください

場 所 武蔵野大学武蔵野キャンパス 5号館

対 象 小学校4年生～6年生 (20名程度)

テーマ **楽しい子どもの居場所を考えよう！**

募集締切 令和6年6月17日(月)まで

お申し込みは
こちらから→

参加証明書が
もらえます！

参加証明書
いこいこ 様

西東京市長

保護者の皆さまへ

イベント詳細

参加証明書
いこいこ 様

参加証明書は、課外活動への参加証明にもなります。

西東京市子ども会議スケジュール

1日目 7月14日(日) 10時～12時30分
自己紹介、グループ分け
西東京市の子どもたちのための地域を知ろう
(グループワークの事前学習)
小学生のためのアクティビティ

2日目 8月3日(土) 10時～12時
グループワーク
テーマ(予定)：
放課後や休日に過ごしている場所や身の回りの生活
に気づいて、みんなと気づいた方がいいな、「どうし
たらできるかな」を考えよう。

3日目 8月4日(日) 10時～12時
グループで話し合ったことを発表しよう(宣言)
発表について市からの挨拶
参加証明書とせしめ

趣旨

西東京市の子どもと子育て家庭に
関する計画「西東京市子育て・子育て
でワイワイプラン」(令和7年度から
令和16年度まで)の策定に子ども
の意見も反映するため、子ども自身
が課題(子ども施設)について考え、
意見を表明する機会として、小学生
4年生～高校生世代までを対象とし
たワークショップを開催します。

会場

武蔵野大学
武蔵野キャンパス5号館
東京都内東京市所内1-1-20
アクセル
バス等「至誠寺東口前」下車 徒歩5分

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

武蔵野大学
武蔵野キャンパス地図

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

主催・問い合わせ
西東京市子育て支援課
電話：042-460-9841
協力
武蔵野大学薬科ゼミ

<中学生・高校生用 募集チラシ>

西東京市 子ども会議

みんなで作ろう、住みよい街

市民の意見が未来を作る

参加証明書が
もらえます！

参加証明書
いこいこ 様

西東京市長

DAY1 7.14(日) 10時～12時30分
DAY2 8.3(土) 10時～12時
DAY3 8.4(日) 10時～12時

※全日程にご参加ください。

【場 所】
武蔵野大学武蔵野キャンパス 5号館

【対 象】
中学生、高校生世代 (25名程度)

【テーマ】
今よりもっと自分らしく！
楽しく過ごせる方法を考えよう

【募集締切】
令和6年6月17日(月)まで

お申し込みは
こちらから→

キャンパス
ツアー等
アクティビティ
もあります！

大学生と一緒にみんなで作ろう

参加者の皆さまへ

イベント詳細

参加証明書
いこいこ 様

参加証明書は、課外活動への参加証明にもなります。

西東京市子ども会議スケジュール

1日目 7月14日(日) 10時～12時30分
自己紹介、グループ分け
西東京市の子どもたちのための地域を知ろう
(グループワークの事前学習)

2日目 8月3日(土) 10時～12時
グループワーク
テーマ：今よりもっと自分らしく！楽しく過ごせる方法
を考えよう。
※1日目の事前学習で話し合う課題テーマをみんなで見
定めます。

3日目 8月4日(日) 10時～12時
グループで話し合ったことを発表しよう(宣言)
発表について市からの挨拶
参加証明書とせしめ

趣旨

西東京市の子どもと子育て家庭に
関する計画「西東京市子育て・子育て
でワイワイプラン」(令和7年度から
令和16年度まで)の策定に子ども
の意見も反映するため、子ども自身
が課題(子ども施設)について考え、
意見を表明する機会として、小
学生4年生～高校生世代までを対象
としたワークショップを開催しま
す。

会場

武蔵野大学
武蔵野キャンパス5号館
東京都内東京市所内1-1-20
アクセル
バス等「至誠寺東口前」下車 徒歩5分

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

武蔵野大学
武蔵野キャンパス地図

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

※全日程にご参加ください。
※当日は雨の場合、ローゼンリーの動向に(随時)変更
※雨天の場合は雨天対応します。

主催・問い合わせ
西東京市子育て支援課
電話：042-460-9841
協力
武蔵野大学薬科ゼミ

(4)スケジュール及び実施内容

日程	内容
令和6年 7月 14 日(日)	Day1 事前学習 ・自己紹介、グループ分け ・西東京市の子どものための取組を知ろう(「西東京市子ども条例」と「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」についての学習) ・大学生とのキャンパスツアー
8月3日(土)	Day2 グループワーク 放課後や休日に過ごしている場所や身の回りの生活に関して「ほっとできる場所」、「自分らしく過ごせる場所」などのディスカッションと発表の準備
8月4日(日)	Day3 宣言(発表) ・グループで話し合ったことを発表しよう(宣言) ・発表について市からのお話 ・参加証明授与セレモニー

<会場>

全日程において武蔵野大学武蔵野キャンパスで実施しました。

<グループ分け>

小学生 3～4 人または中学生・高校生 4 人を1グループとしました。各グループには大学生や児童館職員が 1～2 人ずつ参加し、基本的には 3 日間を通して同じメンバーで活動しました。

2 各回の実施内容

Day1（7月14日(日) 10:00～12:30）

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00～10:30	グループのみんなと友だちになろう
10:30～11:20	「西東京市子ども条例」と「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」を学ぼう
11:20～12:00	大学キャンパスを歩いて「ほっとする場所」を考えよう
12:00～12:30	発見したことをみんなに伝えよう

はじめに趣旨説明を行った後、アイスブレイクとして自己紹介と西東京市の場所当てクイズを行い、グループ内のコミュニケーションを深めました。

その後、「西東京市子ども条例」と「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」について、武蔵野大学の学生が解説を行い、子どもの権利や西東京市の取組について理解を深めました。

「西東京市子ども条例」では、子どもがご飯を食べたり、勉強をしたり、怖い人から守られたりするなどの子どもの権利が守られて、当たり前の暮らしができるように、子どもも大人も一緒に市民で考えていこう、助け合おうということが書かれていることを学びました。また、今回の子ども会議が、自由に思っていることや考えていることを表すことができ、それが大切にされて、集まってグループを作ることができる「参加する権利」も子どもの権利の一つであることも学びました。

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」では、子ども会議で考えて発表することが、市の取組に反映されることを話しました。現行計画に込められた願いや大人が考えた子どものための取組を学び、こんなことがあったらいいな、できたらいいなということをイメージしました。

そして、グループごとに武蔵野大学 武蔵野キャンパス内を歩きながら、「ほっとする場所」を探し、その場所をさらに「ほっとできる」ようにするための工夫を考えました。

キャンパスツアー後は、見つけた場所の写真を会場に映し出しながら、各グループが発表しました。例えば、ベンチを見つけたグループは、友だちと話すことができ良い点と、屋外に置いてあると雨の日は座れない、白色ではなくもう少し温かみのある色だと良いというもっと良くするための工夫の意見がありました。その他にも、図書館、木漏れ日の入る階段、教室の一番後ろの席などがありました。



西東京市内の好きな場所を紹介し合いました。



子どものための市の取組を大学生が説明しました。

<参加者の感想>

- ・ 子どものためにいろんな活動をしているんだ！と思った。はじめて知った言葉を覚えることができた。さいしょはきんちょうしていて無言だったけど、さいごにきんちょうがほぐれた。
- ・ 大学がたのしそうだった。また子ども会議にきたい。
- ・ 初めに会った時にはすごくきんちょうしたけれど、段々と話し合ってくる内に、気軽に話かけられるようになったので良かったです。
- ・ 大学生の方が丁寧に説明してくださり、とてもわかりやすかったです。改めて西東京市を見てみると新しい発見ができました。もっとグループワークを通じて意見交換ができるとさらに良いと思います。また中学校でも子ども条例についての説明をしていただけたら、多くの人にこのことを知ってもらえると思います。
- ・ いいところ、変えるといいところ、みんなと話し合いました。楽しかったです！みんなと話し合うという機会は少なかったですが、この機会があったので、さらに楽しかったです！！
- ・ 子ども条例という、子どもの取組のために、西東京市では子育て・子育てワイワイプランなど様々な行いがされているのを知り、自分も含め、多くの子どもたちが大人によって支えられていることが分かった。子どもも大人もそれぞれ支え合って生活しているのだと改めて感じた。



子ども条例や子育て・子育てワイワイプランについて話し合いました。



キャンパス内の「ほっとする場所」を探しました。

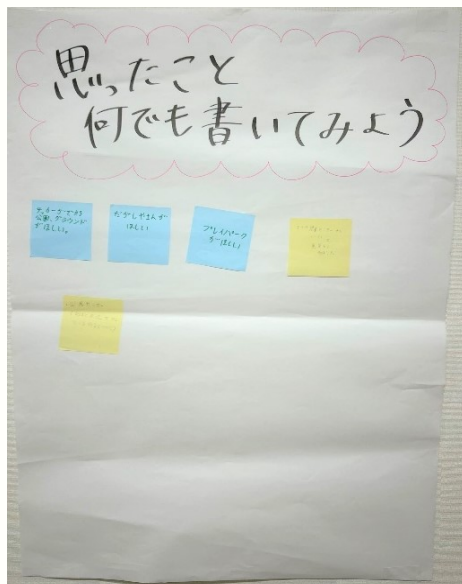
★取組ワンポイント★「思ったこと何でも書いてみよう！」

会場出入口に子どもが自由に意見や思いを書ける模造紙を設置しました。



<Day1に子どもの「思ったこと」>

- ・すべて広い
- ・教室がいっぱい！
- ・図書館は本がいっぱい。読んでみたい！
- ・自然がいっぱいでほっとする。
- ・サッカーができる公園がたくさんほしい。
- ・コンセントがあった
- ・ほっとできる場所は芝生の上、ふんすい。
- ・全然見つけられなかったけど、見つけられてよかった。
- ・外にあるテーブルとイスがもっときれいだったら使えるのに～！
- ・友だちと話せる場所がいっぱい。
- ・ほっとした場所はソファがある場所！
ねれるし、すわれるのがほっとしました。
- ・ひみつきちがほしいー！



<Day2に子どもの「思ったこと」>

- ・だがしやさんがほしい。
- ・プレイパークがほしい！
- ・サッカーができる公園、グラウンドがほしい。
- ・子ども児童センターがいいと、意見が多かった。
- ・公民センター(みんなと交流できるところを作るといい?)

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00~10:05	子ども会議のルールの確認
10:05~10:20	グループワーク「ワークで見つけた場所をグループで紹介しよう」
10:20~10:40	グループワーク「ほっとできる場所、ほっとできない場所はどんな場所？」
10:40~11:00	グループワーク「こんな場所があったらいいな！」
11:00~11:10	休憩
11:10~11:50	宣言(発表)の準備

Day1後のワークとなっていたそれぞれの「ほっとできる場所」と「ほっとできなかった場所」をグループ内で紹介しました。

続いて、「ほっとできる場所、ほっとできない場所はどんな場所？」というテーマで、グループワークを行い、各自が見つけてきた「ほっとできる場所」と「ほっとできなかった場所」の共通点や特色等を模造紙と付箋を使ってまとめました。

「ほっとできる場所」としては、児童館や公園等の安心できる場所や、気楽に過ごせる場所等が多く挙がりました。一方、「ほっとできなかった場所」としては、暑い場所、人が多い場所、一人の空間がない場所等が多く挙がりました。

続いて、「こんな場所があったらいいな！」では、これまでのグループワークを踏まえて、どのような場所があるといいか、その場所でどのように過ごしたいかを話し合い、意見を模造紙と付箋を使ってまとめました。場所の希望としては、「安心して過ごせる場所」「緑が多い場所」「和室や木造の建物等」等の様々な意見が挙がりました。

最後に、「宣言(発表)の準備」を行いました。これまで話し合ったことを模造紙にわかりやすくまとめ、Day3 の発表の準備を行いました。



ワークで見つけた場所を紹介しました。



ほっとできる場所・できない場所の特徴を考えました。

西東京市 池澤市長も参加し、グループワークの様子を巡回して、気になった意見に対し子どもに話しかけました。また最後には子どもへ激励のメッセージを送りました。

西東京市 池澤市長 子どもへのメッセージ(要約)

皆さん、今日はおつかれさまでした。

各グループ、たくさんの意見が出ましたね。「西東京市に落ち着くところがほしい」、「ほっとする場所がほしい」、「くつろげる場所がほしい」等の意見がそれぞれのグループから出てきたように思います。



西東京市で力を入れているまちづくりは4つあります。

1つ目は、「子ども施策」です。子どもたちにこの西東京市で健やかに過ごして欲しいと思っています。

2つ目は、「環境」です。良い環境で、良い西東京市、まちづくりを進めていこうと思っています。

3つ目は、「平和」です。平和というのは戦争がないだけではなく、安心して普段の日常生活が送れる、家族と一緒に過ごせる、友だちと一緒に遊べる、学校に行けるような平和なまちを目指しています。

4つ目は、「若者」です。今日も武蔵野大学の若い学生さんにご協力いただきましたが、若い人たちと一緒にまちをつくっていこうというのが西東京市の取組です。

4つに共通しているのが、「次世代への責任」ということです。今日参加している小学生・中学生・高校生の皆さんが大人になっても西東京市で安心して過ごせるようにしていきたいと思っています。

今、西東京市では 206,000 人の方が暮らしています。また、1年間で約1万人の方が、たくさんの情報がある中で、西東京市を選んで来てくださっています。緑が多い、身近なところで農産物を買うことができる、通勤・通学に便利、子育てがしやすいなど色々な意見がありますが、安心して住み続けられるまちをつくっていきたいと思います。

そのために、今日の皆さんの想い・考えをワイワイプランに反映していきたいと思っています。皆さんは、子ども条例を勉強したと思いますが、意見表明を大人がしっかり受け止めて反映していくことが大事だと思います。市として、皆さんの意見をしっかり受け止めて、ワイワイプランに反映させて、実現・実行に取り組んでいきたいと思っています。

明日も皆さん頑張ってください。今日はありがとうございました。



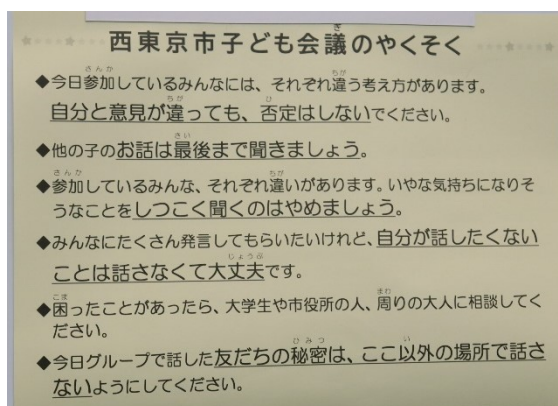
市長も各グループの子どもの声を聞きました。



市長がお話をしました。

<参加者の感想>

- ・ほっとできる場所とできない場所を共有できて、みんなでまとめることができた。何もない場所から作り上げていくように、子ども会議みたいな自分たちで行動していくという意見がとても良いと思った。ただ場所を出すだけではなく、実現するためにはどうすれば良いかまで考えることができて良かった。
- ・西東京市を見つめ直して見て、新しい発見をすることができました。地域社会で課題となっていることも取り入れながら案を出すことができ、「和」と「自然」を取り入れることを意識して、発表に向けて準備を進めることができました。様々なアイデアが出てきてとても楽しかったです。
- ・自分の意見を紙に自由に書けたことが楽しかった。また自分たちで一から作り上げることは難しく感じた。
- ・いろいろな意見が出て、みんながどういうことがしたいのかが分かった。
- ・グループワークが多く、色んな学校の人と話すことができてよかった。
- ・西東京市は子どもや次世代・若者に力を入れていることが分かった。
- ・自分たちの意見を交流することができてとても楽しかったです。また話し合い以外にも、みんなとお話できて楽しかったです。



グループワークの前にルールをみんなで確認しました。



過ごしたい場所についてみんなで考えました。



発表の準備をみんなでした。

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00~10:05	プログラムの確認
10:05~10:10	宣言(発表)に向けた準備
10:10~11:15	宣言(発表)
11:15~11:25	西東京市 荻野副市長からのお話
11:25~11:30	副市長のお話を聞いて、みんなから聞いてみたいこと
11:30~11:50	参加証明書授与と一言感想

宣言(発表)に向けた準備を行った後、グループごとに前に出て、発表しました。

発表が終わると、その場で他のグループの子どもからの質問に回答したり、意見交換をしたりしました。子どもの意見を大人が受け止め、今後の施策に反映していくために子ども子育て審議会長と西東京市副市長からコメントを子どもに直接伝えました。

また、子どもは、他のグループの発表を聞いて、考えたことや共感したことなどを付箋に書いて、休憩時間に該当のグループの発表パネルに貼りました。



発表に向けた準備の様子



子ども子育て審議会森田会長からもグループ発表の講評をいただきました。



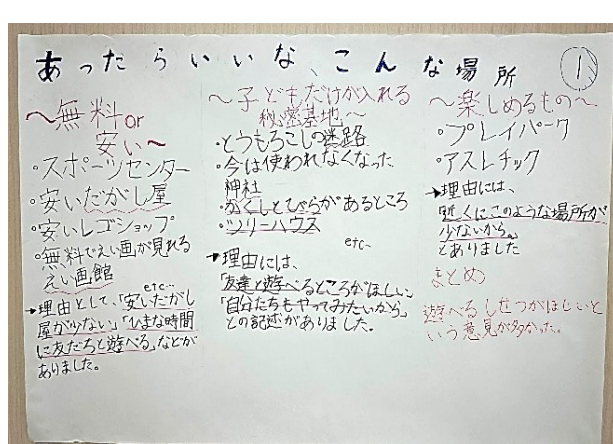
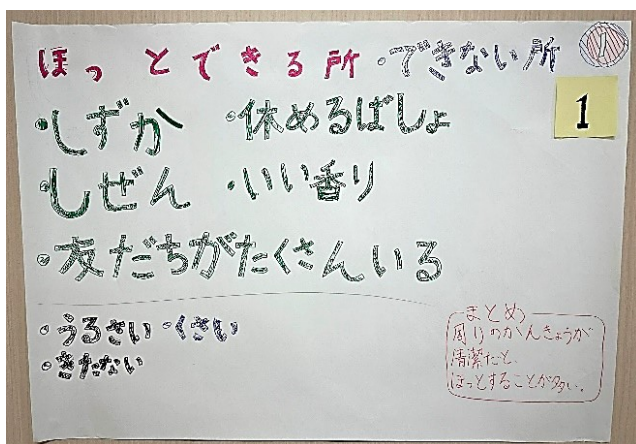
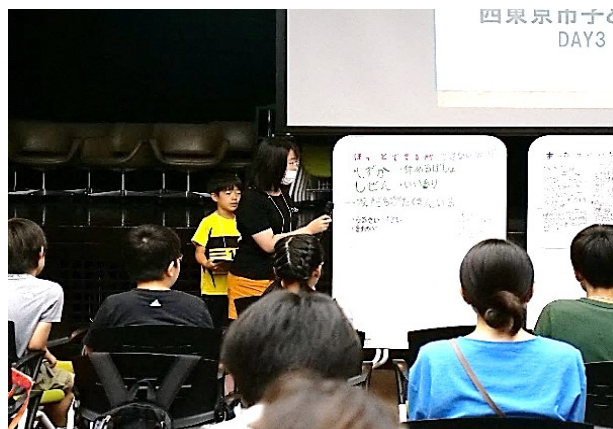
休憩時間に感想を付箋に書いて貼りました。



全てのグループに講評をいただきました。

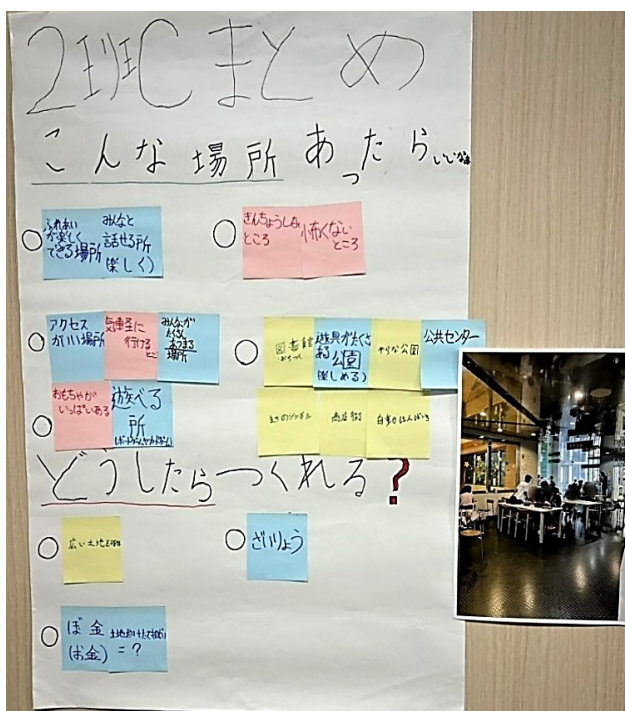
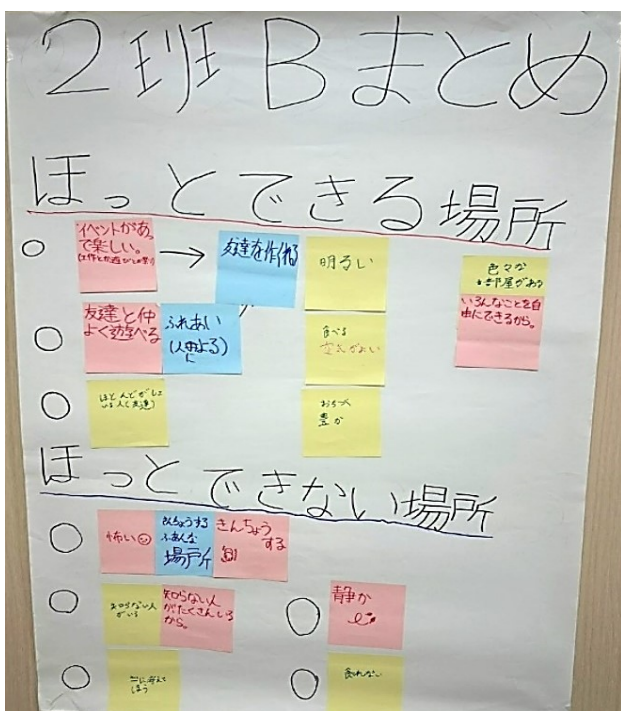
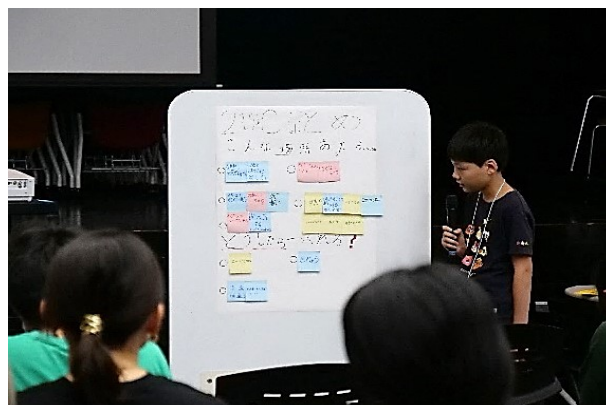
<各グループの宣言(発表内容)>

グループ1(小学生グループ)



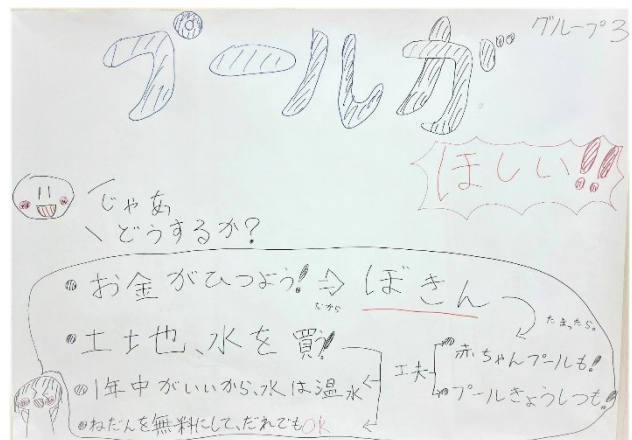
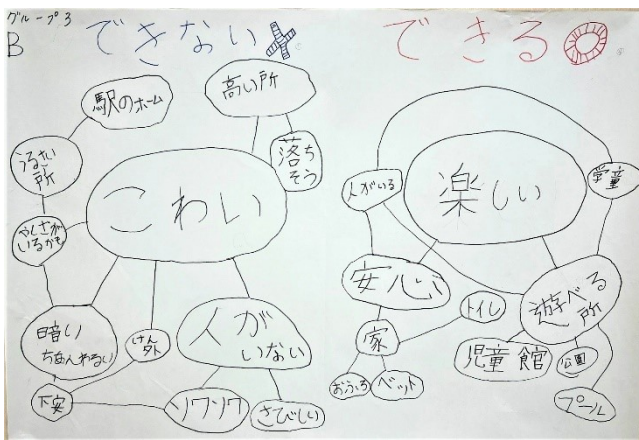
ほっとできる場所	静か、休める場所、自然、いい香り、友だちがたくさんいる。 周りの環境が清潔だとほっとすることが多い。
ほっとできない場所	うるさい、臭い、汚い。 うるさいと耳に響いて変な気持ちになってしまう。
あったらいいな こんな場所	無料または安く利用できるスポーツセンターや映画館、駄菓子屋さん、子どもだけが入れる場所、友だちと遊べる場所。近くにプレイパーク等が少ない。 小学3年生までは校庭で自由に遊ぶことができたけれど、今は小学1年生から6年生まで狭い体育館で遊んでいるので自由に遊ぶことができない。将来の健康のためにも子どもも大人も運動ができる公園がほしい。 遊べる施設がほしい。
副市長コメント	ほっとできる場所は心も身体も休めることが共通点だと思います。また、西東京市は健康応援都市として、人も都市も健康でいようという考え方を持っていますので、もっと皆さんと共有していけたらと思います。
森田会長コメント	ボール遊びができる公園や校庭というのは調整をする必要がありますので、もっともっと話し合いをしていかないといけないのを改めて感じました。学校の校庭を放課後にどう使うか、休みの日にどう使うのかについての話し合いも必要で、子どもたちとの話し合いも重要です。ぜひ計画の中に取り込んでいきたいと思いました。

グループ2(小学生グループ)



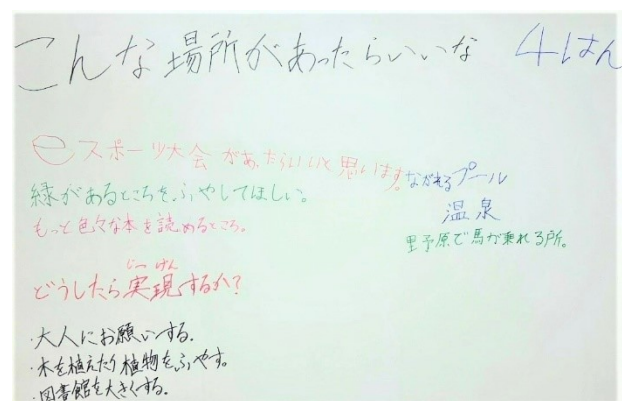
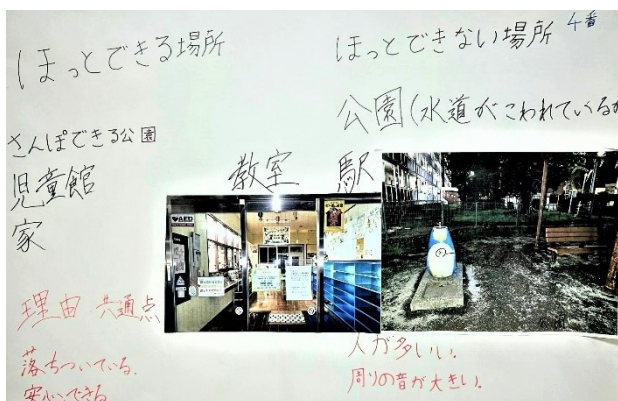
ほっとできる場所	家や学童、学校、児童センター 共通点は、イベントがあって楽しい、知っている人がいる、空間として明るい、食べる場所ができる、落ち着く場所、色々な部屋がある。
ほっとできない場所	緊張する場所や雑草が生えた場所 共通点は、こわい、緊張する、不安な場所、知らない人がたくさんいる。
あったらいいな こんな場所	楽しく触れ合えるところ、みんなが話せるところ。 緊張しないところ、怖くないところ、気軽に行けるところ、おもちゃがたくさんあるところ。 実現する方法として、広い場所を用意する、募金をする、材料を集める。
副市長コメント	募金などの方法が新しいと思いました。ほっとできる場所とできない場所のどちらにも学校があり、人によって受け取り方が違うと感じました。
森田会長コメント	草が生えているのは嫌という気持ちと自然が良いという気持ちが矛盾しているように思いましたが、矛盾していませんでした。整備してほしいという気持ちは皆さん共通していますので、皆さんと一緒にできたら良いと思いました。

グループ3(小学生グループ)



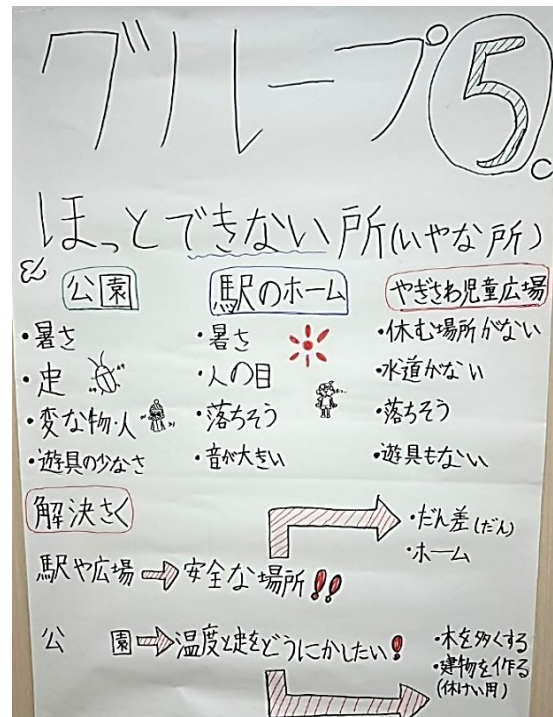
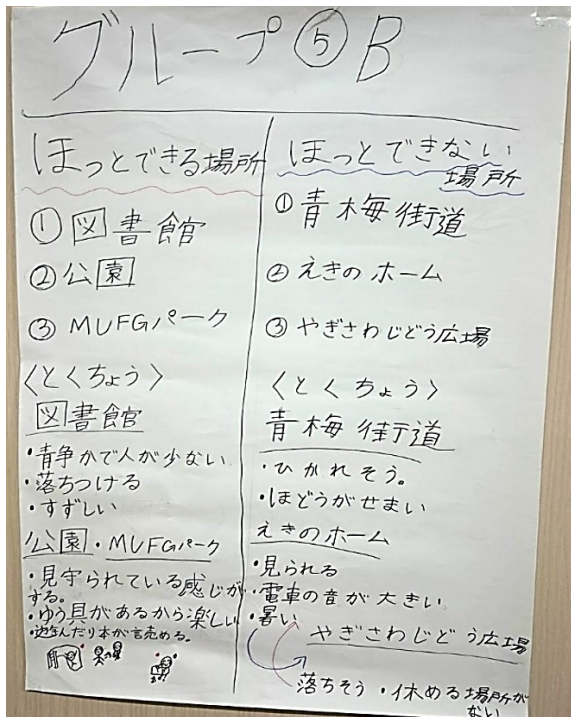
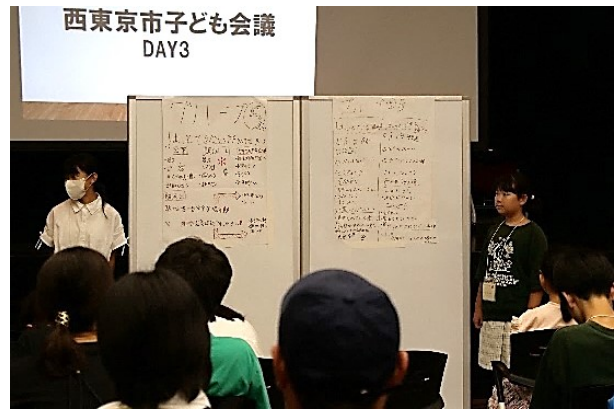
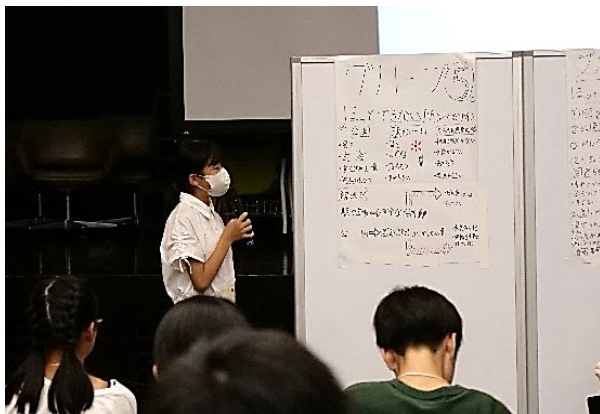
ほっとできる場所	楽しい場所、安心できる場所。 具体的には、学童クラブや児童館、家、プール。
ほっとできない場所	怖い場所。 具体的には、暗いところ、治安が悪いところ、うるさいところ。
あったらいいな こんな場所	プールが欲しい。 お金が必要なので募金をして土地や水を買、1年中使えるように温水プールを整備したり、赤ちゃんが入れるような浅いプールを作ったり、プール教室を開催したりしたい。また、誰でも入れるように入場料は無料としたい。
副市長コメント	プールに関する色々な提案をしてくれてありがとうございます。お金があるので、募金という提案もありがとうございます。いろんな人が来られるような楽しいプールになると思いました。
森田会長コメント	安心できる場所は人がいるところという内容にすごく嬉しいと思いました。皆さんが安心して友だちと遊べたりできていることが嬉しいと思いました。子どもたちが嫌なことを素直に言ってくれて、これを大人たちがどう守ってくれるのかについて考えました。

グループ4(小学生グループ)



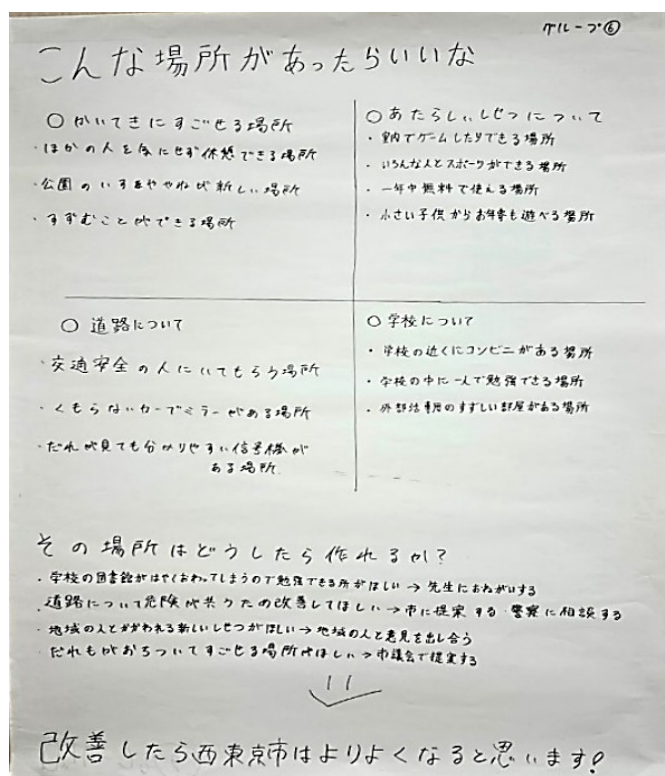
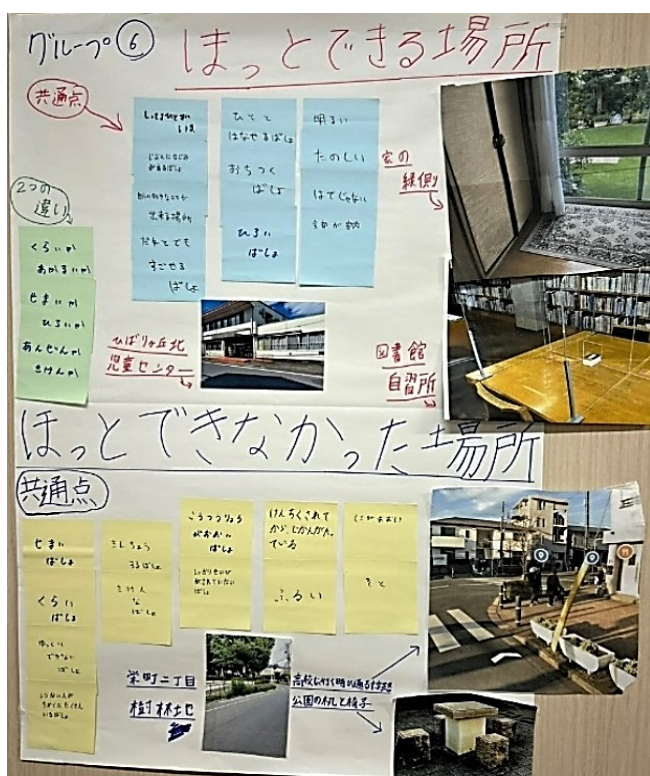
ほっとできる場所	散歩できる公園や児童館、家、教室。 共通点は落ち着いていることと、安心できること。
ほっとできない場所	公園や駅、教室。 共通点は、人が多くて周りの音がうるさいこと。
あったらいいな こんな場所	eスポーツ大会ができる場所や流れるプールと温泉、緑がある場所、色々な本が読める場所。 実現する方法として、大人にお願いをするや木や植物を植える、図書館を大きくする。
副市長コメント	落ち着いている場所がいい、人が多かったりするとざわざわして気になるなど、とても人の気持ちが表されているなと思いました。
森田会長コメント	自然がいっぱいあったらいいな、静かな場所があったらいいな、勉強できる場所があったらいいなということをどうやって解決していくのか、すごく楽しみでワクワクしています。

グループ5(小学生グループ)



ほっとできる場所	図書館や公園、MUFG パーク。 理由は、図書館は静かで人が少ない、涼しい、公園や MUFG パークは人から見守られている感じがする、遊具があるから楽しい、ほっとできる。
ほっとできない場所	青梅街道や駅、柳沢児童広場。 青梅街道は歩道が狭い、駅や柳沢児童広場は人から見られる、ホームに落ちそうで危ない、暑い、虫がいる、休む場所がない。
あったらいいな こんな場所	解決策として、広場の段差をなくす、駅のホームは落ちないようにする、公園に温度と虫の問題を解決するために植物を植える、休憩できる建物をつくる。
副市長コメント	古くなったところも多くありますので、それらをどう整備していけるのかこれから考えていきたいと思います。駅のホームはドアを付けてもらえるように西武鉄道と今連携を取っています。
森田会長コメント	子どもが日ごろ使っている場所が、居心地が良くて、安全・安心につながれるかを考えていました。例えば駅や公園をどうやったら安心できる場所にできるだろうとみんなで話をしたり、みんなでやっていけたらいいなと思いました。

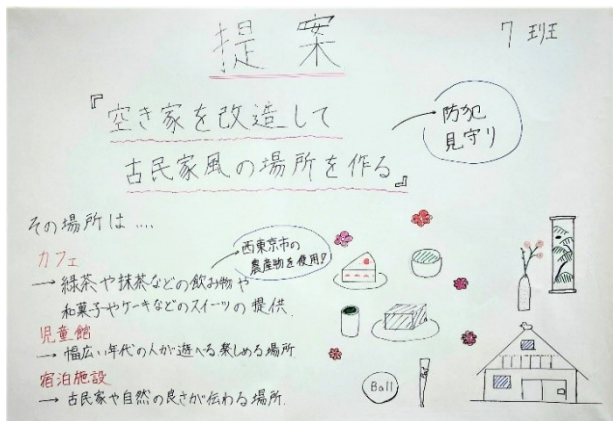
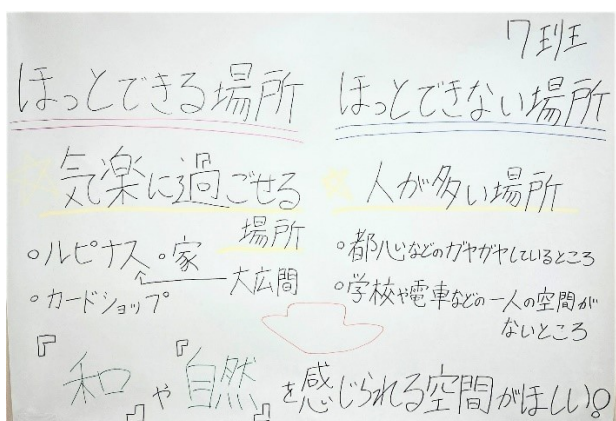
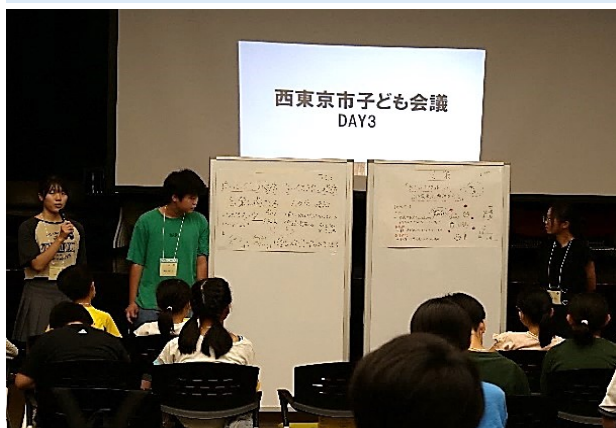
グループ6(中学生・高校生グループ)



ほっとできる場所	家の縁側や図書館の自習室、児童センター。 共通点は、知っている人がいる、自分に馴染みがある、自分の好きなことができる、誰とでも過ごせる、広い場所、落ち着く場所。
ほっとできない場所	高校に行くときに通る十字路、公園の机と椅子、栄町二丁目の樹林地。 共通点は、狭い場所、暗い場所、ゆっくりできない場所、交通量が多い場所、しっかり整備されていない場所、草が多い。 「ほっとできる場所」と「ほっとできなかった場所」の違いは、明るいか暗いか、広い狭いか、安心か不安かだと思う。
あったらいいな こんな場所	1つ目は、快適に過ごせる場所。他の人を気にせずに休憩ができる場所、公園の椅子や屋根が新しい場所、涼むことができる場所。 2つ目は、新しい施設。室内でゲームができる場所、いろんな人とスポーツができ

	る場所、無料で利用できる場所、小さな子どもからお年寄りまで遊べる場所。 3つ目は道路。交通安全の担当の人がいる場所。 4つ目は学校。学校の近くにコンビニや一人で勉強できる場所があると良い。 実現する方法として、快適に過ごせる場所は市議会に、新しい施設は地域の人に、道路は市や警察に、学校については先生にお願い、提案したい。
副市長コメント	とても議論が整理されていて、この問題を誰に言えばいいのかまで考えられていました。市や議会でもきちんと対応していきたいと思います。
森田会長コメント	私ができることってなんだろうと思いながら聞いていました。こどもの目線は、大人だとなかなか気づかない部分をしっかり見ているなあと思いました。そしてそれを誰に聞いたらいいかということまで考えられていてとても良かったです。

グループ7(中学生・高校生グループ)



ほっとできる場所	ルピナスの大広場や家、カードショップ。 自分らしく、気楽に過ごせる場所。ルピナスは畳の部屋とカーペットの部屋があり、和洋折衷の空間があり、とても落ち着く場所の一つ。
ほっとできない場所	人が多い場所、都心などガヤガヤしているところ、学校や電車などの一人の空間がないところ
あったらいいな こんな場所	和や自然を感じられる場所を作ろう、空き家を改良した古民家カフェを作ろう。 古民家カフェでは、西東京市の農産物を活かした飲み物やお菓子を提供したい。 児童館のように広い世代の人が遊べる楽しい場所、また小学生から高校生までは無料で誰でも過ごせる場所にしたい。防犯や見守りも行いたい。 西東京市には宿泊施設が少ないので、自然や古民家の良さが伝わるような宿泊室も設置したい。 高校生まではカフェは無料にして、誰でも過ごしやすい場所にしたい。 最初は税金でカフェをつくりつつ、地域活性化活動に関心のある人にアルバイトをしてもらって、だんだんと地域の中でお金を回していきたい。
副市長コメント	自分らしく過ごせるのを皆さん大切にしているのだと思いました。古民家カフェもまさに経済を回していくという考え方から生まれた考えで、とても良いと思います。
森田会長コメント	空き家をどうやって活用できるのかまで考えてくれてありがとうございます。児童館を利用していた方が大人になり、これから児童館をどう活用できるのかをぜひ考えてほしいです。

グループ8(中学生・高校生グループ)



8 できる ほとんどできない

○ <u>場所</u> ・西原自然公園 自然のんびり ・ひばりヶ丘児童センター 自分らしさ ○ <u>共通点</u> ・自分の時間を過ごす ・やりたいことができる	○ <u>場所</u> ・公園 → いろいろな人 ・教室 → 自由がない ○ <u>共通点</u> ・その場所でやれることに制限がある ・普段関わる機会のない人がいる
---	---

8 まとめ
西東京ドリーム
プレイス!!

・自分の理想の場所を作り上げる

こんな場所があったら～

<しばられている所>

○ 学校 ↳ 自分らしさを表現できない 体育館の自由解放	○ 遊び場 ↳ 年齢層が大きい 自分の好きな事を見つける
---	---

<実現するためには>

- ・趣味に合わせた場所を見つける
- ・勉強が出来たり、中高生が出入りしやすい施設をつくる
- ・環境にしばられない。

8

ほっとできる場所	自然が豊かで木や緑が多くてのんびりできる西原自然公園。 自分らしく過ごせる、自分の好きなことができるひばりが丘児童センター。共通点は、自分らしく自分の時間を過ごせる場所、やりたいことができる。
ほっとできない場所	公園と教室。公園は年齢層幅広く色々な人がいるので落ち着かない、教室は勉強する場所なので窮屈に感じる。 共通点は、普段は関わらない教師や事務の人がいる、目的を持って行っているの のでできることに制限がある、受け身になってしまう。
あったらいいな こんな場所	体育館の自由開放。休み時間は校庭しか使えないので、体育館を開放してほしい。 遊び場は、自分の好きなことを見つけれれば緊張感なく遊ぶことができるのでは ないか。公園も遊びしかできない点で環境に縛られている。 実現するためには、趣味や勉強等 環境に縛られず自由に過ごせる場所を作った ら良い。 以上から、「西東京ドリームプレイス」を提案する。 自分の理想を作り上げるというもので、川崎市の夢パークから発想を得た、自分 から主体的に関わっていくことができれば自分らしく過ごせると思うので、何も ない土地で子どもに遊んでもらい、その後子どもにアンケートで欲しいものを聞 いて、市の支援を受けながら子どもたちで作り上げる、という流れを繰り返す。子 どもにとって理想の場所をつくる取組。
副市長コメント	説明がストーリーになっていてわかりやすかったです。やらされるのではなく、自 分が好きなことをやっていきたいことが「安心」につながると思いました。自分た ちがアンケートを取り、まずは子どもたちが遊んでみて、ダメなところはまた改善 するという PDCA のサイクルもできていて良かったです。
森田会長コメント	子どもの参加がどんなに大事か、この発表でとても感じました。あらゆるところで 子どもの意見をもっと聞いていきたい、西東京市においてもこれから大事な取組 になると思いました。

西東京市 萱野副市長 子どもへのメッセージ

3日間、子ども会議本当におつかれさまでした。

今日は発表の場に参加をさせていただき、ありがとうございました。

様々なご提案を聞いて思ったのは、子どもの目線は大人と違う、大人と受け取り方が違うということです。また、すぐに市に持ち帰って検討したい、レベルの高い提案もたくさんいただきました。



最初の日顔合わせ、2日目に意見をまとめ、3日目に発表というスケジュールでしたが、皆さんどうでしたか。子どもの頃に経験したことが、青年になり、大人になった時に何かに活かされていくのだと思います。そして、自分の考えが色々な友だちと話す中で変わっていくことも大事な経験です。多くのことを3日間で学んでもらえたならとても嬉しく思いますし、これからの皆さんの将来に活かしてもらえればと思います。

人前での発表は緊張しませんか？でも、意見を発表するのは皆さんが持っている大切な権利です。そして、西東京市ではその権利をきちんと守るために「子ども条例」というルールを作って、皆さんが意見を表明する権利を守ることを大切にしています。

これからも皆さんが思うことがあれば、ぜひ意見をください。手紙でも、ほっとルームでも結構ですので、考えていること、困っていること、少し勇気がいるかもしれませんが、ぜひ意見をください。

この子ども会議の中でも大変なこともあったと思いますが、お互いに助け合いながら乗り越えることができたのではないかと思います。困った時はお互い様です。これからも自分が困っている時は誰かに助けをもとめ、誰かが困っているときはあなたが助けてくれると良いなと思います。



宣言(発表)後に、参加者のみなさんと記念撮影

<萱野副市長への質疑応答>

質問： 中学校で生徒会長をしています。子ども会議のように 他の学校の生徒会と交流し、色々な意見を聞けるような企画をぜひ市で実施してほしいです。

回答： とても嬉しい提案です。市の総合計画作成時や平和に関するワークショップでも 学生や若者に参加してもらいましたが、そこに生徒会を含めていくことも検討していきたいと思います。

質問： 副市長はどのように決まるのですか？

回答： 市長は4年に1回選挙で選ばれます。副市長は市長が指名し、市議会の皆さんに承認してもらって副市長になります。任期は4年間です。

質問： 副市長はどのような仕事をしているのですか？

回答： 市長は市の顔として、色々な人に会う等、表に出ることが多いですが、副市長は事務の取りまとめ役として裏方の責任者を担っていきます。今日の皆さんの意見を反映していくためにも色々な調整が必要ですが、そういった取りまとめ役を主に行っています。ただし、市長が出席できない時には市長の代わりに出席し、今日のように皆さんの前にも出ることがあります。



<参加証明書授与と一言感想>

参加した子どもに、参加証明書を授与しました。

受け取った子どもは、一言感想を述べました。「楽しかった」、「違う学校の人の意見を聞けて良かった」や、「発表の内容を実現してほしい」、「大人と一緒に西東京市をもっと盛り上げていきたい」、「中高生の発表を聞いて、自分も中学生になったらそうになりたい」などの感想が聞かれました。



<参加者の感想>

- ・ 幅広い年齢の人たちと関わったことで、自分にはない発想に触れる機会となり、自分の視野が広がったように感じた。
- ・ たくさんの意見が出て、思ってもいなかったような具体的な案が良かった。自分の意見を伝えることができて良かった。
- ・ 市長に会えてうれしかった。これからもこういう活動に参加したい。
- ・ 小学生の意見のレベルがとても高くて驚いた。またどの班も似ている発表だったので、共感し易かった。
- ・ 他の人が発表をしている時、自分では思いつかなかったことがたくさんあったので、楽しかった。
- ・ 発表で、副市長と森田さんと8グループの人たちが話をして、ちゃんと聞いてくれたので安心した。参加してよかった。
- ・ 発表を聞くことができて、いろいろな意見、アドバイスをいろいろなグループから聞けて、今まで考えたこともなかったことを考えることができて視野が広がった。

3 アンケート結果

(1)子ども

参加した子どものアンケート結果です。

楽しかったかの質問について、3日間の全てにおいて、「とてもそう思う」と「そう思う」の合計が100%となり、非常に満足度の高い会議となりました。

また、Day1の事前学習は主に話を聞く時間でしたが、Day2 はディスカッション、Day3は宣言が主でしたので、Day2、3における「自分の考えを言うことができましたか？」は、「とてもそう思う」が9割前後と非常に高くなりました。

Day3は宣言で自分の考えを言うだけでなく、他の友だちの考えを聞く機会も多かったので、Day2と比較して「グループの友だちまたは他のグループの友だちの考えを聞くことができましたか？」の回答が84%と高くなりました。

質問①:楽しかったですか？

	Day1	Day2	Day3
とてもそう思う	93%	84%	92%
そう思う	7%	16%	8%
どちらともいえない	0%	0%	0%
そう思わない	0%	0%	0%
まったく思わない	0%	0%	0%

質問②:自分の考えを言うことができましたか？

	Day1	Day2	Day3
とてもそう思う	52%	92%	88%
そう思う	30%	8%	12%
どちらともいえない	15%	0%	0%
そう思わない	4%	0%	0%
まったく思わない	0%	0%	0%

質問③:グループの友だちまたは他のグループの友だちの考えを聞くことができましたか？

	Day1	Day2	Day3
とてもそう思う	—	68%	84%
そう思う	—	28%	16%
どちらともいえない	—	4%	0%
そう思わない	—	0%	0%
まったく思わない	—	0%	0%

※Day1では当該質問を実施していません。

質問④:今回のような子ども会議にまた参加したいですか？

	割合
とてもそう思う	64%
そう思う	20%
どちらともいえない	12%
そう思わない	4%
まったく思わない	0%

<子ども会議に参加して、自分が変わったなと思うこと> (抜粋)

- ・ 子どもの権利について詳しく知り、「自分たちってこんなに守られているんだ」と思った。知らないこともたくさんあったけれど、学ぶことができて西東京市についてさらに知ることができた。
- ・ 色々な人の意見を聞くこと、意見を伝えることができるようになった。
- ・ 学校、学年が違う人とグループワークをすることで、コミュニケーション能力や市のために考えることがよりできるようになった。
- ・ 大人になったら、西東京市がもっとよい所になるようにしたい(今もしたい)。

(2)大学生

企画・運営に携わった、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部高松宏弥ゼミ及び武蔵野大学フィールド・スタディーズ「子どもが暮らしやすいまちづくりプロジェクト」履修生のアンケート結果(抜粋)です。

子ども会議に携わった満足度とその理由

- ・【とても満足】子どもたちの意見を聞き、彼らの考えや視点を知ることができたことが大切な経験となった。子どもたちが主体的に参加し、自分たちの意見を表明する場が設けられていることは素晴らしいことだと感じた。また、会議の進行がスムーズで、ファシリテーターが上手に議論をリードしていたため、全員が意見を述べやすい雰囲気が作り出されていた。
- ・【とても満足】私は、児童・家庭福祉分野について興味があったため、子どもたちの権利が尊重され、これからの社会を担っていく子どもたちが住み良いまちづくりについて考え、それを市長や市の職員さんに伝えていくということで、子どもの権利を尊重することの大切さを改めて感じるすることができた。
- ・【まあまあ満足】子ども会議を通して、子ども達のユーモアな発想や熱い想いを発信する姿を見て、私自身感化された。意見を伝える大切さを再認識した。

子ども会議での印象的な言葉や子どもの言葉

- ・最初は控えめで、話を振らないと答えてくれなかったような子が、Day2の発表資料作りの時、自分がこれしてみたい、と意思表示をしてくれたことが印象に残った。知らない人だらけの周りの環境に慣れてくれたのもあると思うが、この会議を通して子どもが自主性を持ってくれたことが嬉しかった。
- ・「実現してほしい」、「まだ小学生だけど、出来ることがあったら一緒にやります」などの感想があって、大人と子どもが協同して市を作っていく現場に立ち会えて嬉しい。
- ・最後の子どもたちからの一言で、「色んな意見が聞けて良かった」、「この会に参加出来て良かった」と言ってくれている子がいて、自分たちも学びになっていたのと同時に子どもたちにとってもこの会で学べることが多くあったのだと感じた。

子ども会議を通しての自身の変化

- ・子どもと関わる時の質問の角度を考えるようになったり、子どもたちの思っていることを100%に近く引き出せるかを考えたりするようになった。また、大学生という年代がちょうど大人とこどもの狭間の世代で、橋渡しができる存在になれると気づくことができた。
- ・子どもと話す際に、伝えたいことを一方的に話すのではなく、子どもたちが今何を考えて発言しているのかを考えた上で、子どもが答えを導き出せるような「問いかける話し方」をするように変化した。
- ・変化はあったと思う。今回はあくまで子どもたちが主体で、ただ普通にまとめるのではなく自然に円滑に進むよう補助する形で話をうまくまとめられる様になった。今回の取組で少し自信がついた。
- ・意見や想いを宣言する権利が私たちにもある。子どもたちと同じように、選挙などを通して意見を伝えていく大切さを再認識した。

「子どもの意見表明」について子ども会議を通して感じたこと

- ・ 子ども会議を通じて、子どもの意見表明の重要性を強く感じた。子どもたちが自由に意見を述べる場を提供することで、彼らの創造力や問題解決能力が発揮されることを実感した。また、子どもたちの意見を真剣に受け止め、大人がそれをどう実行に移すかを考える姿勢が求められていると感じた。子どもたちが意見を述べることで、自分たちが社会の一員であることを実感し、自信を持つことができる点も重要だと思う。子どもたちの意見表明は、彼らの成長や社会参加の機会を広げるために不可欠だと思う。
- ・ 子どもたちが自分の意見を表明することで、彼ら自身が尊重され、価値を感じるようになった。意見を持つこと自体が自己肯定感を高める要素となり、積極的に参加する動機付けになる。
- ・ 子どもたちそれぞれが異なる意見や価値観を持っていることを理解し、互いに協調し合いながら話し合いを進めていく必要があるということを改めて理解することができた。
- ・ 会議に参加した子どもたちは、日々の問題点を整理し、どうしたら解決できるか真剣に議論しており、素直に感心した。
- ・ 子どもたちの率直な意見が聞けて、思った事を言葉にして話すことは大事だと改めて実感した。

子ども会議を通して大学生自身がまちづくりに携わっている実感について

- ・ 副市長が実際に検討したいこともあると述べていた点が、私自身しっかりまちづくりに関わることができているのだと実感した。
- ・ やはり実行していく西東京市の市長をはじめ、市役所の職員の方や委員会の委員の方と共にやることがまちづくりに携わっている感覚を持った。
- ・ 私自身、出身は西東京市ではないのですが、まちづくりに携わっていることをとても感じることもできた。所属しているボランティア団体が西東京市を中心として活動を行っているため、少し知識がある中で活動に参加していた。その中で、今回の子ども会議を通じて得た知識や経験を活かして今後、ボランティア活動により積極的に取り組んでいけると改めて感じることもできた。
- ・ 西東京市が子ども会議を通して、子どもの意見や想いを丁寧に汲み取ろうとする姿を見て、こうしてまちづくりは行われていくのだと感じた。私もその大事な日に立ち会えて嬉しい。



(3)子ども会議見学者

Day3の宣言(発表)を見学した保護者や市民の方のアンケート結果(抜粋)です。

印象に残っている子どもの意見や発表

- ・公園や教室が、同じ子どもにとって安心な場にも不安な場にもなり得る、という意見が聞けたことは大変考えさせられました。同じように、人に見られることについても、「知らない人に見られている」=不安、「見守りがある」=安心という受け止めがあることについても考えさせられました。より深く子どもの気持ちを聞き取り、場づくりに反映する必要があると考えます。ボール遊びのできる公園は喫緊の課題ですね。現在の公園の運用方法の見直しも深めて、早期実現に向け取組を進めるべきと思いました。
- ・自分のことだけでなく、他の世代や市の財政などにも触れた発表が印象に残った。市や警察、市議会など、どこへ声を届けたらいいのかについても考えていて、素晴らしいと思った。自分たちも実現に向けてお手伝いをしたいという声があったのは、心強い。
- ・子どもたちの意見を発することにとどまらず、関わっていきたいという思いがあることに感動しました。子どもたちがやっていく企画、トライしたいぜひ実現してもらいたいと思いました。自分らしく主体的にいられる場が大切だと改めて思いました。少しでもひとつでも実現できるように、大変大きな宿題をもらったのだと思います。
- ・ほとんどのグループで「自分らしさ」というワードが言われていた。世代間交流を求めている声も多かった。駅のホームが怖いというのは子どもらしい視点かと思った。
- ・提案の中に無料、低額というフレーズが多く、行政への提言としてぴったりだと思いました。費用や土地などのリソースの確保まで考えているのは良かったと思います。
- ・ドリームプレイスの発表が印象に残りました。苦手なことが多い、自信を無くしている子どもを得意なことで自信をつけ、将来に役立てる環境はとても素晴らしいと思いました。また、それを子どもたちが子どもの目線で考えるのはとても無駄がなく生きる場所作りだと思いました。誰一人取りこぼさない姿勢に感動しました。



子ども会議の取組について

- ・ 子ども達が子どもの視点で意見を表明してくれることはとても大事なことだと思います。子ども達の何人かは、また参加したいと、実現に向けて自分も手伝いたい、と話してくれたので、自分の意見が実際に市政に反映されるというポジティブな体験を通して、社会参加する市民を育てる活動としてもとても有意義だと感じました。継続的に実施して行って欲しいです。
- ・ 参加した子どもたちの多くが、前向きな意見を出していたことから、定期開催化に向け取り組むべきではないでしょうか。参加者の中から、市の政策に協力者が出てくるとも期待できると感じました。また、計画策定後は、その進捗を子どもの視点からチェックしてもらう取組も必要だと感じました。
- ・ このような会議に自分の子どもを参加させてみて、成長をすごく感じられたと思います。家の中では見せない姿を見られて良かったです。次回もこのような会議があればぜひ参加させたいと思います。
- ・ とても有意義な時間で、市の取組としても、子ども達の経験としてもとても良いものだと感じます。いつも他の市のお母さん達に西東京市は、学校のオンライン授業がいち早く整備されたこと、給食費無料などうらやましがられることが多いです。それは、このように子ども達に寄り添う市政があるからだ実感しました。
- ・ 子ども会議を通して、障害を持つ子どもも参加してほしいと思いました。障害だけではなく触れ合いの場所がないので手話で学習できるとか同年代の子どもとの交流場を増やしてほしいと思います。
- ・ 「ほっとする」という意味の取り方が広いワードをテーマに設定したのは上手だと思いました。子どもたちが意見をまとめて他者に向けて発信する経験を積めるのはとてもよい取組と感じました。
- ・ 子どもの意見が反映される経験を持ってもらいたいと思います。様々な取組に対してこのような機会を持つことが当たり前になれば良いと思います。



(4)子ども会議関係者

子ども会議に携わった大人の方のアンケート結果(抜粋)です。

印象に残っている子どもの意見や発表、活動の様子など

- ・小学生が自分の言葉で話せていたのは印象的でした。
- ・子ども同士の関係性がまだ出来ていない中、積極的に意見を述べたり、相手の意見をきちんと受け止めたうえで自分の意見を伝えたりする様子が印象に残った。
- ・誰かに頼むのではなく一緒にやるというのが良かった。
- ・Day1～Day3まで見させていただきましたが、どんどん子どもたちの表情がよくなって笑顔も増えてきたと思います。子どもたちの日常生活の中で、自分の思いや意見を否定せずに受け止めてもらう経験が少ないのだなと改めて思いました。発表にはない子どもたちのつぶやきがとても大事だと思います。「どうして大人って話を聞いてくれないんだろう?」、「どうやったら話を聞いてくれるんだろう」そんな言葉が出てくる雰囲気や学生さんたちが作ってくれていたと思います。居場所はいろいろですが、共通することとして「自分らしくいられる」、「好きなことができる」、「緊張しないで気楽に過ごせる」、「自分の好きなことを見つけられる場所」が印象的でした。特に、「何もない場所に子どもを呼んで遊んでもらって、何があったらいいかの意見を聞きながら自分たちで理想の場所を作って、また意見を聞いてまた作ることを繰り返す場」と話していたのがすごいなと思いました。子どもたちが主体的に自分からかかわって行けることを本当は求めていることを感じました。

印象に残っている大学生の活動の様子

- ・子どもたちの目線に立って話を引き出してくれていたと思います。なんでも受け止めるよという姿勢がありました。何か良い発表をさせなければということではなく、子どもたちを信頼して作って行けたのではないかと思います。
- ・模造紙にまとめを作る際、大学生が書いた方が早いような場面でも、子どもたちの自主性や創造性を優先させて、手を出さずに見守っている姿が印象的でした。参加者の言葉や意見をうまく引き出そうと工夫している姿がたくさん見られました。

子ども会議についての感想

- ・大学生とのコラボは、子どもたちにとってもとても話しやすく、リラックスできてよかったと思う。
- ・1回に終わらず、子ども参加が西東京市の「文化」になるような継続が大切だと痛感しました。
- ・今回については非常に実りの多いものであったと思う。それと同時に、中高生の参加が少なかったことなどから、今後は10代後半から20代前半までの若者が意見を表明する機会も作れたらと思う。
- ・意見を集める方法として、参加できる協力的な子どもだけを集めて実施するのではなく、子どもがいるところに出向いて様々な意見を聞いた方がいいと思う。
- ・子どもに関わる施設などを巡ってみるのもいいと思う。実際にやっている事業なども意見に出ていたのもので。

4 子どもへのフィードバック

(1)子ども会議後のフィードバック

子ども会議での意見や提案を市が受け取ったことを参加者に伝えるため、フィードバック資料を作成し、参加者へ送りました。フィードバック資料には、各グループからの提案に対する市の担当部署の課長からのコメントと発表グループに対する参加者のコメントを記載しました。主なコメント(抜粋)は以下のとおりです。

グループ1(小学生グループ)

文化振興課長からのコメント

無料や安く映画を見られたらいいなについて、保谷こもれびホールでは、映画館で観るよりも安い金額で、これまで公開した映画や市民の皆さんが作った映画の上映会のイベントをしています。開催する時は、おたよりやホームページでお知らせしているので、ぜひ遊びに来てください。

産業振興課長からのコメント

安いだかし屋、レゴショップ、映画館などがあるといいなについて、みなさんが楽しめるお店や行きたくなるようなお店が増えるように、協力していきたいと思います。

児童青少年課長からのコメント

とうもろこし迷路、かくしとびらがあるところ、ツリーハウス、ひみつ基地など、大人のわたしたちもわくわくする、とても良いアイデアだと思います。今、学童クラブでは、子どもたちの提案でお化け屋敷を作って、楽しんでいる場所もあります。同じように、児童館スペースの中でも子どものみなさんの要望を聞きながら、迷路遊びに近いイベントをみんなと一緒に考えたりしたいと思います。

他の参加者からのコメント

- ・キーワードがあって Good !
- ・友達がいって、しずかな場所がほっとすると書いてありましたが、友達がいる所でしずかだと逆にほっとしないのではないですか？おもしろくてとても良い発表でした。
- ・ボール遊びについて、私の住んでいる近所でもすごく話題になっているので、ボールを使って遊べる公園がほしい！

担当大学生のコメント

- ・こんなホッとできる場所があったらいいなということをワクワクしながら考えていて、とても楽しそうでした。
- ・子どもらしい面白い発想もたくさんありました。

グループ2(小学生グループ)

子育て支援課長からのコメント

みなさんにとって、友だちと一緒に遊んだりお話ができる場所が居心地がいいと感じることが、よくわかりました。そして、新しい友だちを作りたい気持ちもあることがわかりました。今のワイワイプランでは、「子どもと一緒に作る遊び場」や「屋内や屋外で過ごせる場所を増やすこと」に取り組んでいます。

次のワイワイプランには、場所だけではなく、友だちと話したり、ふれあえる場所の取組も考えたいと思います。

みどり公園課長からのコメント

遊具がたくさんある公園、平らな公園など特色のある公園は魅力的だと思います。新しく公園をつくるときや今ある公園をリニューアルするときに、魅力的な公園になるようにみなさんの意見を活かすことができると思います。

他の参加者からのコメント

- ・言葉がはっきりしていて声が大きくて聞きやすかった。(2件)
- ・ほっとできる場所、できない場所について、そう思う具体的な理由があってよかった。
- ・「材料」や「ぼ金」という案は思いつけなかったもので、その案は良いと思いました。

担当大学生のコメント

- ・みんながたくさん意見を言ってくれて良かったです。
- ・発表の準備をする時にも、ひとつひとつこだわって、時間をぎりぎりまで使って丁寧に取り組んでいましたね。

グループ3(小学生グループ)

スポーツ振興課長からのコメント

西東京市のプールはスポーツセンターにあって、子どものみなさんも泳ぐことができます。プールを運営するには、温水を沸かす機械や燃料、電気、みなさんの安全を見守る監視員や受付、清掃員など多くのお金がかかっています。今はプールを利用する人には料金をいただいています。みなさんからの意見に募金もあって、費用などについても考えてくれていることをうれしく思っています。さらにみなさんと意見を出し合っていけたら良いと思います。

赤ちゃんも使えるプールがあると、親子や兄弟で楽しめて良いと思いますが、オムツをしている場合などは衛生面での課題もあるので、ルールを作ることも必要だと思います。西東京市スポーツセンターにあるプールは、小さな子ども遊べる浅いプールがあったり、小学生になる前から習えるプール教室も泳ぎのレベルに合わせて用意したりしています。

みなさんにとって、スポーツセンターのプールが、たくさんの友だちがいて楽しい場所になるようにこれからも一緒に考えていきましょう。

教育企画課長からのコメント

小・中学校のプールは、夏の数か月しか利用されないことや、天気によって授業が中止になることから、使用方法の見直しを考えています。「1年中使えるプール」や「だれでも使えるプール」といったみなさんの意見は、教育委員会でも重要な考え方であると思います。そこで、教育委員会では計画を作って、小・中学校を建替える時にすべての学校にプールを作るのではなく、一部の小・中学校に屋内温水プールを作って、地域の方々にも利用してもらえるように考えていくこととしました。地域の方々の利用では、自分でトイレに行けない赤ちゃんなどの利用は、プールの水をきれいに保つために課題があると考えています。また、利用料金については、フィットネスクラブなどの利用料金とのバランスも考える予定です。

他の参加者からのコメント

- ・赤いぼうを使って説明していて、どこのことを言っているのかわかりやすかった。図やイラストもわかりやすかった。
- ・プールについて、どのように実現するのか、できたらどのようにするのか(無料にしたり、幼児にも目を向けたり)、いろいろな工夫があって良い意見だった。
- ・人がいないとこわい、さみしいというのは、たしかにと思った。

担当大学生からのコメント

- ・Day1から、会うたびにみんなが仲良くなっていっているなと感じました。話し合いの内容以外にも、たくさん話をしていましたね。
- ・みんながお友達の意見をしっかり聞いたり、賛成したりできたことで、話し合いがもり上がったと思います。

グループ4(小学生グループ)

児童青少年課長からのコメント

eスポーツをやりたいと思う子が多いので、人気のイベントを児童館で開催したいと思います。去年からは保谷柳沢児童館で試しに取り組んでいます。今後は、eスポーツをもっと多くの子どもが遊べるようにしたいので、たくさんのお友だちと一緒に楽しめるアイデアがあったら教えてください。

産業振興課長からのコメント

温泉施設があるとみんなが集まり、楽しめる場所になると思います。民間の会社が温泉施設を作る時に協力することなどが考えられると思います。西東京市には、温泉施設はないですが、銭湯が3か所あり、壁画など工夫が凝らされている、みんなで入れる広いお風呂があるので、ぜひ出かけてみてください。

図書館長からのコメント

落ち着いた環境の中で、色々な本が読める場所があることは、望ましいことだと考えています。ワイワイプランと同じように図書館の計画を作っていて、これからの図書館の中心となる新中央館と地域館の将来像に必要な考え方、役割や機能などを考えています。

西東京市にある6つの図書館では、みんなが学んだり、楽しんだりできる、様々な本を用意しています。西東京市では、1年間で約3万冊の本を買っていますが、もっと色々な種類の本を集めるには、本を買うためのお金や、本を置いておくための場所が必要となります。今後、新中央図書館のイメージの考えをまとめていく中で、今回ご意見をいただいた「もっと色々な本を読めるところ」に近づけるように図書館の大きさや広さと機能についても、考えていきます。

スポーツ振興課長からのコメント

乗馬は、パリ2024オリンピックの馬術競技で92年ぶりのメダルを獲得して人気があがっていて、近くにあったらとても魅力的なアイデアだと思います。馬を飼育するには、広い場所や騒音などの環境にもやさしい場所も必要となり、「野原で馬に乗れる場所」を新しく作ることは大変ですが、市内の東伏見には早稲田大学の馬術部が利用する馬場があり、毎年9月には「早稲田スポーツフェスタ」というイベントで乗馬体験なども行われていましたので、ぜひ参加して西東京市内でも馬とのふれあいも楽しんでください。

他の参加者からのコメント

- ・写真があって見やすかった。全員がはっきり発表できていて良かった。
- ・どうしたら実現できるか、大人たちに相談するなど、自分たちでできる意見がたくさんあって良かった。
- ・ほっとできる場所の一つに「児童館」があって、自分にはない発想だった。

担当大学生からのコメント

- ・発表の準備では、みんなと協力してワークができて楽しかったです。
- ・緊張している子もいたと思いますが、だんだんと意見をたくさん出せるようになりましたね。

グループ5(小学生グループ)

交通課長からのコメント

駅の落ちそうなところに柵を立てて、もっと安全になるといいなというのは、駅の持ち主である鉄道事業者、つまり西武鉄道との話し合いが必要なため、西東京市だけではなく、隣の市のみなさんと一緒に鉄道事業者に要望しました。みなさんの意見の実現に向けて現在取り組んでいます。

みどり公園課長からのコメント

柳沢児童広場は、段差をなくしたり、遊具や暑さを避けられる公園施設があったりして、もっと安全に利用できれば良いと思います。しかし、柳沢児童広場は、大雨の時に石神井川を流れる雨水が家の方にあふれないようにするために、一時的に雨水を貯める広場(調節池)の役割があります。そのため、段差をなくしたり、遊具などを新しく設置するのは、水の流れをじゃましてしまうことがあり、水を貯める機能の低下につながるので難しいと思います。

他の参加者からのコメント

- ・きれいに、字が大きく、図やイラストを使ってわかりやすくまとめられていて見やすかった。
- ・いごこちの良いまちにするための、解決策が具体的に書かれていて良いと思った。
- ・駅のホームがこわいのが同じだった。ホームに止まる電車が熱かったり、うるさかったりするので、大きいホームドアを設置してほしい。

担当大学生からのコメント

- ・Day2 から担当する大学生が変わってしまったけれど、たくさん話をしてくれてうれしかったです。
- ・みんながどんなことを考えているのか、たくさん意見を聞くことができました。

グループ6(中高生グループ)

環境保全課長からのコメント

快適に過ごせる場所の提案をありがとうございました。この猛暑の中で、涼むことができる場所の視点はとても大切であると考えています。市では、暑い日でも誰もが気軽に休める涼しい場所(クールシェアスポット)をみなさんにお知らせする取組を進めています。そして、お知らせできる場所を増やしていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

協働コミュニティ課長からのコメント

誰とでも過ごすことができ、知っている人もいるような落ち着く場所は、子どもに限らず地域に住んでいる人たちにとっても大切な場所だと思います。そのような施設があると、地域住民の輪ができて、くらしの安心にもつながると市では考えています。市が施設をつくる時には、地域のいろんな人の意見を聞いてつくります。これからも、いろんな年齢の人が楽しめる場を工夫してつくれたら良いと思います。

すぐには新しい施設はつくれないかもしれないけれど、今ある施設のリフォームや建て替えなどにあわせて、みんなの希望をかなえたいです。しかし、お年寄りと元気な子どもが同じ場所で遊ぶと危ないという意見もあります。みんなが安心して、楽しく過ごせる場所をつくるには、ルールづくりなどの工夫も必要です。一緒に、みんなのほっとできる場所をつくりましょう。

道路課長からのコメント

カーブミラーは、設置されて時間が経つと古くなって曇りやすくなるため、カーブミラーの状況を確認して、新しいカーブミラーに交換しています。もし、市が管理している道路やカーブミラーなどの道路に係るものに不具合があった場合は、電話やメール、LINEの通報システムから市に連絡していただくと助かります。

学務課長からのコメント

暗い、古い、危険ということを感じてしまうことがあるということに、教育委員会としてもっと気を付けていこうと改めて感じました。子どもの安全に関わることは、できる限り実現させていきたいと思います。今も、毎年の通学路の安全点検をして、標識や環境の改善などを行っています。また、交通擁護員の方が登下校時の見守りもしています。

社会教育課長からのコメント

学校の部屋は、学校の教育に影響のない範囲で貸し出しもしていて、希望する教室の使い道で利用できるかを調整しています。外部活の時に部屋を使いたい時は、団体の使用申請書に部屋の希望を書いてください。小学校ではランチルームも貸すことができる所もあります。図書室は学校に協力をお願いが必要であったり、教室の空き状況や学校内での位置により貸し出しをしていない学校もありますが、できる範囲で貸し出していますので、ぜひ利用してください。

(次ページへ)

産業振興課長からのコメント

学校の近くにコンビニがあるといいなという意見について、西東京市には、実は、コンビニエンスストアが80店もあって（令和5年度）、近所の市と比べると多くある地域なんですよ。

他の参加者からのコメント

- ・写真もはってあってよりわかりやすかった。ゆっくり話していてわかりやすかった。
- ・細かく提案や対応（提案する人）をまとめていて、どうしたらできるかなどもくわしく書かれていてわかりやすかった。
- ・どうしたら良いか、具体的に出して、地域と協力して物事をするという提案がよかった。

担当大学生からのコメント

最初はみんな緊張しているようだったけれど、DAY2からはしっかりと自分の意見を書いたり、伝えたりしてくれたので、とても良い話し合いになったと思います。たくさん考えてくれてありがとう！

グループ7(中高生グループ)

住宅課長からのコメント

空き家を利用すること、活用していくこととして、市役所として大変共感できます。みなさんの意見を実現するには、空き家の持ち主の希望や空き家の状態、使いたい人の希望などの条件を合わせていく必要があります。現在、市では、空き家の持ち主と空き家を利用・活用したい人とをつなげる取組として、空き家バンクを運営しています。希望や条件が合う人をつなげていければ、みなさんの提案の実現に近づくとと思います。

危機管理課長からのコメント

子どもたちの居場所づくり、保護者の方の交流の場ができることはいいことだと思います。防犯、見守りという観点で、市内で日ごろから防犯活動に取り組んでいただいている団体にカフェがあることをお知らせし、パトロールの時に立ち寄って安全を確認したり、休憩の場所として使ってもらえるのではないかと考えます。もし、地域の方々での運営が実現した時には、危機管理課として防犯活動団体の方にお知らせするなど協力できることはあると思います。

他の参加者からのコメント

- ・共通点や提案が具体的で、わかりやすい説明だった。
- ・めぐみちゃんメニューを使うなど、西東京市の良さを出していたのが良かった。
- ・空き家の活用は、地域の人と関わったり、いろいろな世代が使えて、利点が多くあってとても良い発想だと思った。

担当大学生からのコメント

- ・みんなが積極的に自分の意見を遠慮なく言っていたと思います。
- ・途中で、ファシリテーターがみんなの意見を聞くことに集中しすぎて、最後のまとめに向かうまでに時間がかかってしまったところもありましたが、みんなが上手くまとめて発表できたのがすばしかったです。

グループ8(中高生グループ)

教育企画課長からのコメント

教育委員会では、小・中学校は、児童・生徒以外にも利用される身近な公共施設であると考えています。このため、小・中学校の建替えを進める中では、施設内のゾーニング(することによって場所を分けること)といった、セキュリティ対策などを考えながら、教育活動に影響がない範囲で施設開放を充実していきます。

教育指導課長からのコメント

学校は安全な場所であることが大切です。体育館の自由利用は、学校に通っている子ども全員が自由に使うと、使えるスペースが狭くなってぶつかってしまい、けがなどの心配があるので、学校のみんなで話し合ったり、ルールを作ったりすることが必要だと思います。

安全に自由に使えるようにするにはどうしたら良いか、皆さんの意見をぜひ聞かせてください。

児童青少年課長からのコメント

児童館や児童センターで、趣味に合わせた場所作りや学習スペースをつくることができれば良いと思います。みなさんにとって、自分の好きなことが見つけられて、自分の時間を過ごすことができるのが心地よいというのがわかりました。児童館や児童センターで自分の好きなことが見つけられるお手伝いができたらいいなと思います。みなさんが、どんなふうに過ごしたいのかを知りたいので、意見を紙に書いてポストに入れられるような目安箱を児童館・児童センターにもっと広げていき、みなさんの希望に応えられる仕組みを作りたいと思います。

また、子ども自身で考えて、作って、また考えて、一緒にいいものを作り上げることはとても大切なことだと思います。今後、新しい児童館を考えるときには、子どものみなさんと大人のチームを作って、より多くの声を聞きながら行いたいと考えています。

他の参加者からのコメント

- ・絵が大きく書いてあったり、色ペンを使ったりしながらの説明や、言葉の使い方が上手でわかりやすかった。
- ・「自分らしい」がとても大切なことだというのがわかった。そしてどうやったら自分らしくなるのかがくわしく説明されていたので良かった。
- ・「西東京市ドリームプレイス」の説明、利点は何かを自分たちで考えていて良かった。いろいろな人が楽しめそうで良い案だと思った。

担当大学生からのコメント

グループのメンバー全員がとても積極的に意見を出してくれました。その結果、あったらいいなと思う場所は、子どもたちでつくっていく場所というすばらしい提案ができたと思います。

(2)フィードバックへの感想

フィードバック資料を受け取った子ども会議参加者から、感想を寄せていただきました。

<子ども会議参加者の感想> (抜粋)

区分 ※	自分のグループのページを読んで、どう思ったかの感想	市からの返事の満足度
小	自分の意見がいつか本当になってほしいなと思った。	とても満足
小	自分の考えに関するコメントが書いてあって嬉しかった。また、他の班に書いたコメントが反映されていたことも嬉しかった。 公園の壊れた蛇口が今後に取り付けられる予定がないとわかってがっかりした。なぜとりつけないのかを知りたいと思った。	とても満足
小	客観的に見ているのでとてもわかりやすいというを実感できた。そして子供の意見もちゃんと聞いてもらえるし、変えられるということがわかってよかった。 これからも自分の意見を色々な方に伝え、より良くしていきたいです。	とても満足
小	子ども会議ではいろいろなことが知れました。例えば子ども条例や、西東京市ワイワイプランなどたくさんの知識をつけられました。 送られてきた振り返り資料は、全部の班の意見について書かれていてすごいと思いました。 プールのことを読んでくれてありがとうございます。西東京市にスポーツセンターに温水プールがあること教えていただきありがとうございました。けれど、地図で場所を見たところ、向台町や新町に住んでいる人は、ちょっと遠すぎると思います。子どもだけで行けるように直通バスを作っていただけるといいと思いました。一部の小・中学校に温水プールを作りそこでやるというのはいい案だと思いました。そうすれば一年中入れます。これからもいろいろ学んだことを生かして生活していきたいと思いました。	まあまあ満足
中・高	グループで出した案は少し現実性に欠けていて実現が難しいと思います、心残りだったのですが、案の原型は保ちつつ、実現できるような形でサポートを提案してくださって、嬉しかったです。	とても満足
中・高	多くの方から共感の意見をいただき、本当に嬉しいです。様々な視点から意見があり、とても参考になりました。空き家バンクについては初めて知り、驚きました。 実現したときはボランティアとして、何かお手伝い出来ることがあればさせてください。ありがとうございました。	まあまあ満足

※区分・・・小:小学生、中・高:中学生・高校生

(3)計画案の確認

子ども会議からの提案を反映した取組について、子どもたちがわかりやすいように子ども版を作成し、計画案(子ども版)を使用して、キッズコメント(小・中・高校生向けパブリックコメント)を行いました。

子ども会議参加者には、計画案(子ども版)とキッズコメントについてお知らせしました。

<キッズコメントの実施内容>

提出期間

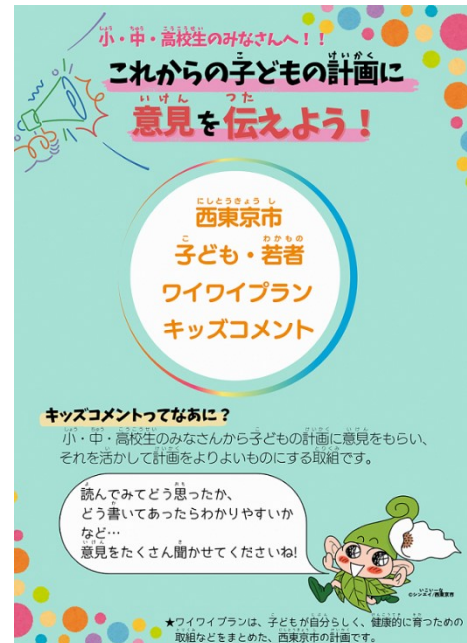
令和6年11月25日から12月24日まで

実施方法

- ・市ホームページ、情報公開コーナーにて公開、
- ・児童館・児童センターにて掲示、
- ・西東京市立小・中学校にて掲示
- ・市内3か所の児童館・児童センターでの意見交換会

提出方法

- ・回答用紙の持参
- ・市ホームページ(にしとうきょうキッズ！)
- ・市民説明会会場の回収ポストへの投函
- ・児童館・児童センターの回収ポストへの投函
- ・意見交換会への参加

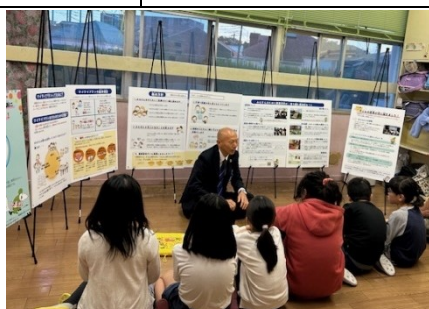


★取組ワンポイント★キッズコメント 意見交換会

市内3か所の児童館・児童センターにおいて、直接子どもと意見を交わす意見交換会を実施しました。

計画案(子ども版)を使用し、市が目指すことや取り組むこととお話し、子どもから市や計画に対して意見をもらいました。また一部日程では副市長も参加し、直接子どもたちから話を聞きました。

実施場所	日時	参加人数
田無柳沢児童センター	令和6年11月27日(水) 午後4時から午後4時30分まで	7人(小学4年生5人、小学5年生1人、小学6年生1人)
下保谷児童センター	令和6年12月11日(水) 午後4時から午後4時40分まで	14人(小学生9人、中学2年生5人)
田無児童館	令和6年12月23日(月) 午後4時から午後4時45分まで	18人(小学生16人、中学2年生2人)



(4)計画案(子ども版)への感想

キッズコメント(小・中・高校生向けパブリックコメント)において、子ども会議参加者にも計画案への意見反映について確認していただきました。

<子ども会議参加者からの感想>(抜粋)

区分 ※	感想
小	子ども版は、わかりやすく書かれていると思います。特に子ども会議で出た意見「子どもも大人と一緒に運動できる公園が欲しい。」と書いてあり嬉しかったです。 サッカーチームのコーチたちと話をしました。前に、西東京市にサッカーグラウンドを作ってほしいという署名が2万1,680人分集まったのにできなかったそうです。 子ども会議でも発表しましたが、サッカーをするとすごく楽しいし、大人になってもサッカーをする事で丈夫な身体のお年寄りになれると思います。 他の市や区のサッカーチームを招待できるように、また自分たちもたくさんサッカーができるように人工芝のグラウンドが欲しいです。グラウンドは避難場所にもなります。砂埃が洗濯物をよごすこともないのでメリットが多いです。人工芝のサッカーグラウンドがあるとみんなが楽しい生活を送れると思います。
小	広い世代との交流、ボッチャ交流会をしたいと思います。
中・高	子どもを第一に考えた政策がたくさんあり、私たちの権利がより保障されていると思いました。 地域の方との繋がりが昔に比べて少なくなっている今の時代につながりを大切にしたい子育てができるのはいいと思いました。 子ども会議に似た内容のことを中学校でもやってみたかったです。
中・高	子どもの権利を大切にするという基本方針はとても良いと感じました。 具体的に取り組むことを挙げていますが、現実的に考えることが大切だと思います。小学生や幼稚園児などの小さい子どもが遊べる場所や校庭開放などがありますが、中学生の居場所が少ないと思います。公民館は騒いだらいけないような環境だし、公共施設に居場所がないと思います。「武蔵野プレイス」のような場所を西東京市に作ってほしいと思います。大きな図書館と地下は18歳以下専用のスペースになっていて、騒いでも夜でも安心して遊べるので、子育てや地域の人々が来やすく、良い環境になるので、ぜひ検討してほしいと思います。
中・高	これからも子どもの意見を反映させるための場所や子ども会議などを活発に作ってほしいと思います。

※区分・・・小:小学生、中・高:中学生・高校生

(5)計画への反映

子ども会議からの提案やキッズコメントでの子どもたちからの意見を受けて、計画「第3期子ども・若者ワイワイプラン」及びその子ども版の具体的な施策・事業の内容に反映しました。

<第3期西東京市子ども・若者ワイワイプランへの反映>

子ども会議からの提案を受け、基本方針1「子ども・若者の主体的な参加で進める」 方向性1-2-2「居場所づくり」の具体的な施策・事業に反映しました。

..... 子ども会議からの提案

子どもからの意見	意見に対する市の回答	具体的な施策・事業
子どもも大人も多世代が運動ができる公園、いろいろな人とスポーツができるなど、交流の場所があると良い。	新しい居場所を考えるときには、子どもと大人のチームを作って、より多くの声を聞きながら考えていく。 体育館の校庭開放は、みんなが安全に自由に使えるにはどうしたら良いか意見を聞く。	・子ども・若者の居場所の充実・推進 ・子ども参画による遊び場づくりの推進 ・ボール遊び等ができる身近な環境の有効活用の検討 ・児童館機能の充実 ・学校等の活用による放課後等の居場所の充実 ・子ども・若者向けの文化芸術・スポーツの振興
古民家カフェのような場所があると良い。	イベントを企画する際に、今ある場所を利用して年代を超えて、工作や遊びができるように考えていく。	・子ども参画による遊び場づくりの推進
趣味や勉強など環境に縛られず自由に過ごせる場所を自分たちで作りたい。	みんなが安心して自由に楽しく過ごすためのルールをみんなで作る、ほっとできる場所を作る。	・子ども・若者の居場所の充実・推進
eスポーツ大会があったら良いと思う。	eスポーツなどのイベントを児童館で開催し、たくさんの人が一緒に楽しめるアイデアを聞きながら企画する。	・児童館機能の充実 ・子ども・若者向けの文化芸術・スポーツの振興

<子ども版への反映>

子ども会議からの提案とキッズコメントでの意見を活かした取組について、子ども版の「みなさんのために西東京市が取り組む具体的なこと」に反映しました。

また子ども会議からの提案内容やキッズコメントでの意見についても、子ども版にまとめています。

みなさんのために西東京市が 取り組む具体的なこと

自由に過ごせる場づくり

続ける！ みなさんがいつでも自由に安心して過ごせるように、これからも児童館を開きます。

さらに！ 中学生や高校生向けに、スポーツや音楽活動ができる児童館もあります。もっと使いやすくなるようにしていきます。



いろいろな学年の友だちと遊ぶことができるよ！

遊び場づくり

続ける！ 公園や広場を遊びやすくきれいにします。

さらに！ ボール遊びなど、身体を動かせる安全な場所をつくることを考えます。



みなさんの意見を聞きながら、楽しく過ごせる場所を目指しているよ！



話し合いの場づくり

続ける！ いつも行く児童館の使い方や遊び方、どんなイベントに行ってみようかななどをこれからも聞いていきます。

さらに！ アンケートを書いてもらったり、お話をしながらみなさんの意見や考えを聞いたり、話し合ったりして、市の取組に活かします。



文化芸術・スポーツに触れる機会づくり

続ける！ 音楽・美術のイベントやワークショップ、市民まつりや市民文化祭、スポーツのイベントや教室をします。

さらに！ eスポーツなどを、いろいろな人が楽しめるようにおとな子どもと一緒に考えます。



ボランティア活動の機会づくり

続ける！ 保育園でのふれあい遊びのボランティアや職場体験などをしています。

さらに！ 地域のことや地域で活動している人たちのことに興味を持ち、積極的に参加できるように、活動の場所を用意します。



相談できる場づくり

続ける！ どんな悩みでも安心して相談できる場所を用意しています。直接話ができる「子ども相談室 ほっとルーム」や、LINEで相談できる「いいいーな窓口@西東京」があります。

さらに！ みなさんにほっとルームをもっと知ってもらって、困ったときにいつでも利用してもらえようにします。



もっとくわしいことが知りたい人は、
子ども・若者ワイワイプランを読んでみてね！



情報発信

続ける！ 市のホームページ（にしようきょうキッズ！）、ちらしやおたよりなどを作って、みなさんが行ける場所や参加できることをお知らせします。

さらに！ SNSなどを使って、みなさんに伝わりやすい方法を考えます。



子どもの意見が市に届きました！

子ども会議より 西東京市では、子どもの声をこれからのまちづくりに活かしていくために、「子ども会議」を開催しました。

子どもからの意見

- ・子どもも大人も、一緒に運動できる公園がほしい。
- ・古民家カフェを作りたい。
- ・勉強や趣味など、やることを決めつけられずに、自由に過ごせる場所を自分たちで作りたい。
- ・eスポーツ大会に参加したい！



子ども会議

ワイワイプランに活かしたところ

「自由に過ごせる場づくり」に取り組めます！（P5）

どんな場所で、どんなルールが必要かを考え、たくさんの人の声を聞きながら、ほっとできる場所を作ります。

「遊び場づくり」に取り組めます！（P6）

ボール遊びができる公園や体育館、校庭開放など、みんなの遊び場を考えます。今ある場所を使っていろいろな年代の人が楽しめるように考えます。

「話し合いの場づくり」「文化芸術・スポーツにふれる機会づくり」に取り組めます！（P5、P6）

eスポーツ大会を児童館でやるなど、たくさんの人が楽しめるイベントを、みんなの意見を聞きながら一緒に考えます。

その他に「子どもの生活実態状況調査」も行い、みなさんがどんな生活をしていきたいかを聞いて、取組に活かしました。

キッズコメントより 子ども版を作る時に、児童館でみなさんの声を聞きました。

主な声と子ども版に活かしたところ

- ・居場所と聞いて思い浮かぶのは、いつでも行くことができ、好きなことができる、安心できるような場所。自由に過ごせる場づくり（P5）
- ・普段はあまり話し合いはしていない。学級会で話し合いをして遊びを決めたりする。「話し合いの場づくり」（P5）



(6)子ども版の送付

子ども会議で発表した取組が子ども・若者ワイワイプランとして形になり、子ども会議参加者に子ども・若者ワイワイプランと子ども版を送りました。



5 関連資料

子ども会議参加者へ実際に送付したフィードバック資料

西東京市子ども会議 振り返り

1 子ども会議を開いた理由

西東京市では、子どもと子育て家庭に関する計画「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」(令和7年度から令和16年度まで)を作っているところです。

子どもの意見や声を聞いた取組を進めるため、子ども自身が市の取組について考え、こうなったらいいなという意見を発表する場として、子ども会議を開きました。



2 やったこと

Day 1 〈7月14日(日)〉 事前学習

□グループごとにメンバーの人に自己紹介と、西東京市の場所当てクイズ

□大学生から「西東京市子ども条例」と「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」のお話

「西東京市子ども条例」は、ご飯を食べたり、勉強をしたり、怖い人から守られたりなどの子どもの権利が守られて、当たり前の暮らしができるように、子どもも大人と一緒に考えていこう、助け合おうということが書いてあります。今回の子ども会議は、子どもの権利の一つである、自由に思っていることや考えを表すことができて、それを大切にもらうことができる「参加する権利」です。

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」は、子ども会議でみんなが考えて発表する内容が、市の取組に反映されます。計画に込められた願いや大人が考えた子どものための取組について学びました。

□グループで武蔵野大学を歩いて「ほっとできる場所」探し

その場所をもっとほっとできるようにするための工夫を考えました。

他のグループのみんながどんなところを見つけて、どんなことを感じたのかを写真を見ながら聞きました。



Day 2 〈8月3日(土)〉 グループワーク

□自分の身の回りに見つけてきた「ほっとできる場所」と「ほっとできなかった場所」をグループの友だちに紹介

□「ほっとできる場所」と「ほっとできなかった場所」の共通点や特色などのまとめ

□これから、どのような場所があるといいか、その場所でのように過ごしたいかのまとめ

★西東京市 池澤市長からのお話★

たくさんの意見が出ましたね。今日参加しているみなさんが大人になっても西東京市で安心して過ごせるようにしていきたいと思っています。

子ども条例で勉強したように、みなさんの意見表明を大人が受け止めて、反映していくことが大事だと思います。市としてみなさんの想いや考え、意見をしっかりと受け止めて、ワイワイプランに反映させて、実現・実行に向けて取り組んでいきたいと思っています。

Day 3 〈8月4日(日)〉 発表！

□各グループの発表とコメント

全員がマイクを持って、考え、意見を発表しました。友だちの発表を聞いた感想をメモに書いて伝えました。

□参加証明書のお渡し

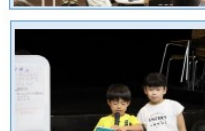
副市長から参加証明書を受け取って、感想を話しました。

★西東京市 萱野副市長からのお話★

すぐに市に持ち帰って考えたい提案もたくさんいただきました。

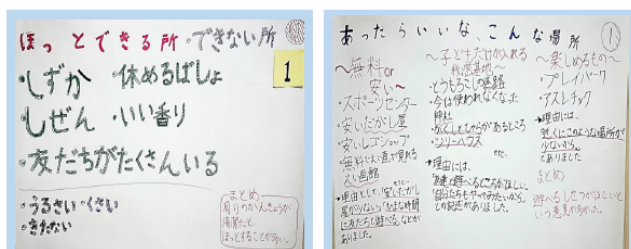
自分の考えを色々な友だちと話す中で変わっていくことも大きな経験です。また、人前で意見を発表することは緊張するかもしれませんが、みなさんが持っている大切な権利です。西東京市では、子ども条例というルールを作って、意見を表明する権利を守ることを大切にしています。

これからもみなさんが思うこと、考えていることがあれば、ぜひ聞かせてください。



西東京市子ども会議 グループ1

1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・キーワードがあって Good!
- ・発表の言葉選びがユニークで面白かった。
- ・持ちようも解決法も書いていて良い。
- ・トウモロコシめいろやだしが屋が良いとおもった。
- ・文字が大きくて見やすかったです。(2件)
- ・友達がいる、しずかな場所がほっとすると書いてありましたが、友達がいる所でしずかだと逆にほっとしないのでは？おもしろくてとても良い発表でした。
- ・くわく未来のことを考えて理由を言っていたので、なんでこれがいいのかわかりやすかった。ボール遊びができるようになれば私もいいと思います。
- ・文字や線を引いていて、パッと見てわかるし、サッカーの場所がふえたらもっと楽しく過ごせるかなと思いました!
- ・大きい話題、してほしいことから、自分の訴えたいことを出してよかった。
- ・色を使い分けていてわかりやすかった。理由もしっかり書かれていてよかった。
- ・ボール遊びについて、私の住んでいる近所でもすごく話題になっているので、ボールを使って遊べる公園がほしい!



3 担当大学生の感想・コメント

- ・こんなほっとできる場所があったらいいなということをワクワクしながら考えていて、とても楽しそうでした。
- ・子どもらしい面白い発想もたくさんありました。

4 西東京市からのコメント

安いだがし屋、レゴショップ、映画館について

文化振興課長からのコメント

無料や安く映画を見られたらいいなについて、保谷こもれびホールでは、映画館で観るよりも安い金額で、これまで公開した映画や市民の皆さんが作った映画の上映会のイベントをしています。開催する時は、おたよりやホームページでお知らせしているので、ぜひ遊びに来てください。

児童青少年課長からのコメント

児童館では映画会を行っていたことがありますが、作品を守る権利の関係でできなくなっていました。これから、映画を見られるようにするには、作品を守る権利の問題を解決していく必要があると考えていきたいと思っています。

産業振興課長からのコメント

安いだがし屋、レゴショップ、映画館などがあるといいなについて、みなさんが楽しめるお店や行きたくなくなるようなお店が増えるように、協力していきたいと思っています。



裏もあります ➡

子どもだけが入れる秘密基地について

児童青少年課長からのコメント

たくさんの友だちと共感する気持ちと一緒に成長できる取組をたくさん提案していただいて、ありがとうございます。

どうもこし迷路、かくしとびがあるところ、ツリーハウス、ひみつ基地など、大人のわたしたちもわくわくする、とても良いアイデアだと思います。今、学童クラブでは、子どもたちの提案でお化け屋敷を作って、楽しんでいる場所もあります。同じように、児童館スペースの中でも子どものみなさんの要望を聞きながら、迷路遊びに近いイベントをみんなと一緒に考えたりしたいと思っています。

産業振興課長からのコメント

どうもこし迷路があるという点については、迷路を作れるような広さの畑は市内にはありませんが、代わりに親子で参加できる農業体験イベントなどを実施しているので、ぜひ、参加してみてください。

楽しめるものについて

スポーツ振興課長からのコメント

プレイパークやアスレチックなど、遊びながら身体を動かす施設は近くにあったらステキだと思います。プレイパークやアスレチック施設などの遊べる施設を新しく作る時は、民間の会社と一緒に作る方法もあるので、考えてみたいと思います。また、市内には子どものみなさんがサッカーや野球などで利用できるスポーツ施設があり、貸切り予約が入っていないときに無料で利用できる一般開放を行っている施設もあるので、お友だちをさそって利用してみてください。

児童青少年課長からのコメント

運動できるスペースがあると、とても良い場所になると思います。運動遊びは児童館でも行っています。今後は、児童館で遊ぶことができることをお知らせしたり、たくさんの子どものみなさんに利用してもらうため、ルール作りをしていきたいと思っています。児童館にある遊び用具の用意もしていきたいと思っています。ぜひ、児童館に遊びに来てください。

楽しめるものについて(つづき)

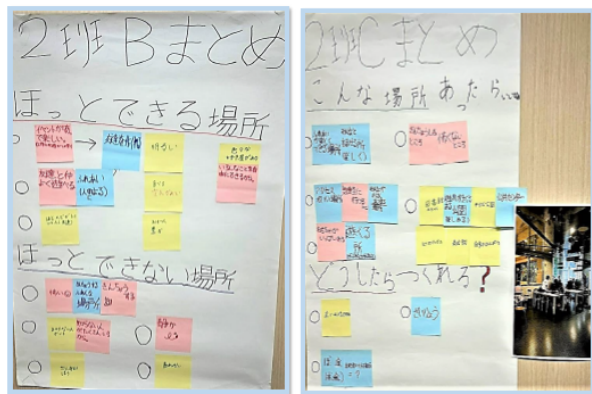
みどり公園課長からのコメント

プレイパーク、アスレチック、ボール遊び場所などがあると、たくさんの子どものみなさんが楽しめて良いと思います。プレイパーク、アスレチック、ボール遊び場所などを作るには、広い場所と、安全に遊べる環境が必要になります。これから、新しい場所に公園を作るときや、今ある公園をリニューアルするときに、みなさんの意見を活かすことができると思います。



西京市子ども会議 グループ2

1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・ふせんで分けていてわかりやすい。(3件)
- ・字が大きくて、色ペンも使っていて見やすかった。(3件)
- ・言葉がはっきりしていて声が大きくて聞きやすかった。(2件)
- ・ほんとでできる場所、できない場所について、そう思う具体的な理由があったよかった。(2件)
- ・やりたいことを実現するために必要なことがまとめられていて、わかりやすかった。(2件)
- ・みんなと話せる所があると、好きなことが知れるから良いと思った。(3件)
- ・知らない人がいるとこわいと思います。自分もそう思いました。
- ・「材料」や「ぼ金」という案は思いつかなかったの、その案は良いと思いました。
- ・イベントがあって楽しいなど、そこが安心すると言っていたので、なるほどと思った。
- ・みんなと話せる所や仲良くなれる場を考えたの良かったと思います。
- ・楽しく過ごせて落ちつけもする場所づくりをしようとして良かった。
- ・ざん草があるとチクチクして痛いから、めくのは家の近くは自分でやって、広い場所は地域の人がやれば良いと思った。



3 担当大学生の感想・コメント

- ・みんながたくさん意見を言ってくれて良かったです。
- ・発表の準備をする時にも、ひとつひとつこだわって、時間をぎりぎりまで使って丁寧に取り組んでいましたね。

4 西京市からのコメント

みんなと話せる場所・遊べる場所・気軽に行ける場所・おもちゃがいっぱいある場所について



子育て支援課長からのコメント

みなさんにとって、友だちと一緒に遊んだりお話ができる場所が居心地がよいと感じることが、よくわかりました。そして、新しい友だちを作りたい気持ちもあることがわかりました。今のワイワイプランでは、「子どもと一緒に作る遊び場」や「屋内や屋外で過ごせる場所を増やすこと」に取り組んでいます。次のワイワイプランには、場所だけではなく、友だちと話したり、ふれあえる場所の取組も考えたいと思います。

児童青少年課長からのコメント

みなさんが、気軽に行ける場所や遊びの種類がたくさんある場所がよいと感じることがよくわかりました。とても大切な視点だと思います。「遊びの種類がたくさんある場所」というのは、児童館においてある遊び用具を新しいものに入れ替える時に活かしていきたいと思っています。また、児童館・児童センターが、居心地のいい場所、清潔感があり、明るい場所になるようにしていきたいと思っています。

遊具がたくさんある公園・平らな公園について

みどり公園課長からのコメント

遊具がたくさんある公園、平らな公園など特色のある公園は魅力的だと思います。新しく公園をつくる時や今ある公園をリニューアルするときに、魅力的な公園になるようにみなさんの意見を活かすことができると思います。

裏もあります ➡

ふれあいが楽しくできる場所・みんながたくさん集まる場所について

文化振興課長からのコメント

イベントが楽しい場所、ほとんどの人が知っている場所は、大人もあったらいいと思います。ワイワイプランのように文化芸術に関する市の計画もあり、その計画では、保谷こもれびホールといった文化施設が、子どものみなさんが身近に文化芸術にふれたり、楽しんだりすることができるところ、いこいの場となるように、文化芸術に親しむ場所の確保とイベントなどを増やすことに取り組むことになっています。

ほっとできる場所に「イベントが楽しい場所」とありますが、保谷こもれびホールでは、子どもの皆さんが楽しめるイベントをしたり、学校でも楽器などにふれるイベントをして、身近な場所で文化芸術にふれて、親しむことができる取組をしています。それぞれのイベントでは、子どものみなさんにアンケート調査をして、意見をもとにイベントの見直しなどをしています。みなさんも、イベントに参加したときは、感想やアイデアをアンケートに書いて、教えてください。

落ちつく図書館について

図書館長からのコメント

西東京市に、まちのシンボルになるような図書館があることは、望ましいことだと考えています。ワイワイプランと同じように図書館の計画を作っていて、これからの図書館の中心となる新中央館と地域館の将来像に必要な考え方、役割や機能などを示して、「これからの西東京市図書館のコンセプト」として、「都市（まち）の顔にふさわしい規模と機能を持つ図書館」が必要であるとしています。

現在、西東京市にある6つの図書館では、図書館の提供のほかに、みんなが学んだり、楽しんだりできる、いろいろなイベントなどを用意しています。

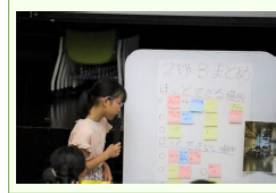
まちのシンボルとなる図書館をつくるには、お金や場所や時間が必要になります。これから新中央館のイメージの考えをまとめている中で、図書館の規模と機能についても、考えていきます。

商店街・自動販売機について

産業振興課長からのコメント

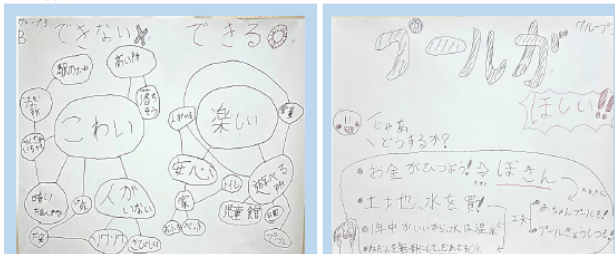
商店街は、買い物や防犯などみなさんの日々の生活を支えてくれている大切な役割があります。市内には16の商店街があり、夏祭り、冬のイルミネーションなど、各商店街でいろいろなイベントも行っていますので、ぜひ、みなさんもお近くの商店街に出かけてみてください。

また自動販売機があったらいいという意見については、みんなが買ってくれる場所に民間の会社が自動販売機を設置しているので、さらにどんなところにあったらいいか、みなさんと意見交換ができるいいなと思っています。



西東京市子ども会議 グループ3

1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・赤いぼうを使って説明していて、どこのことを言っているのかわかりやすかった。図やイラストもわかりやすかった。(4件)
- ・マップを使ってほっとできる、できない場所をまとめているのがわかりやすかった。(7件)
- ・プールについて、どのように実現するのか、できたらどのようにするのか(無料にしたり、幼児にも目を向けたり)、いろいろな工夫があって良い意見だった。(5件)
- ・みんな協力してプールを作るのはとても良い提案だと思いました。
- ・人がいなくてこわい、さみしいというのは、たしかに思った。
- ・人がいるところが安心できる場所という考えに共感した。プールを無料で使いたい!



3 担当大学生の感想・コメント

- ・Day1から、会うたびにみんなが仲良くなっていっていると感じました。話し合いの内容以外にも、たくさん話をしていましたね。
- ・みんながお友達の意見をしっかり聞いたり、賛成したりできたことで、話し合いがもり上がったと思います。

4 西東京市からのコメント

プールについて

スポーツ振興課長からのコメント

西東京市のプールはスポーツセンターにあって、子どものみなさんも泳ぐことができます。プールを運営するには、温水を沸かす機械や燃料、電気、みなさんの安全を見守る監視員や受付、清掃員など多くのお金がかかっています。今はプールを利用する人には料金をいただいているのですが、みなさんからの意見に募金もあって、費用などについても考えていることをうれしく思っています。さらにみなさんと意見を出し合っていけたら良いと思います。

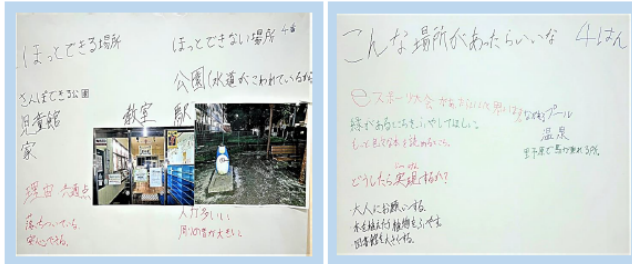
赤ちゃんも使えるプールがあると、親子や兄弟で楽しめて良いと思いますが、オムツをしている場合などは衛生面での課題もあるので、ルールを作ることも必要だと思います。西東京市スポーツセンターにあるプールは、小さな子どもも遊べる浅いプールがあったり、小学生になる前から習えるプール教室も泳ぎのレベルに合わせて用意したりしています。みなさんにとって、スポーツセンターのプールが、たくさんの友だちがいて楽しい場所になるようにこれから一緒に考えていきましょう。

教育企画課長からのコメント

小・中学校のプールは、夏の数か月しか利用されないことや、天気によって授業が中止になることから、使用方法を見直しを考えています。「1年中使えるプール」や「だれでも使えるプール」といったみなさんの意見は、教育委員会でも重要な考え方であると思います。そこで、教育委員会では計画を作って、小・中学校を建替える時にすべての学校にプールを作るのではなく、一部の小・中学校に屋内温水プールを作って、地域の方々にも利用してもらえるように考えていくこととしました。地域の方々利用では、自分でトイレに行けない赤ちゃんなどの利用は、プールの水をきれいに保つために課題があると考えています。また、利用料金については、フィットネスクラブなどの利用料金とのバランスも考える予定です。



1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・わかりやすい説明だった（2件）
- ・写真があつて見やすかった。（2件）
- ・全員がはっきり発表できていて良かった。
- ・ほっとできる、できないが分けられていて、違いや共通点がわくわくわかってよかった。（3件）
- ・どうしたら実現できるか、大人たちに相談するなど、自分たちでできる意見がたくさんあって良かった。（3件）
- ・ほっとできる場所の一つに「児童館」があつて、自分にはない発想だった。
- ・「木」や「しぜん」を大切にしているところがいいなと思った。
- ・プールや温泉など、ゆつくり楽しめる場所がほしいなと思った。
- ・流れるプールなど、ほしい場所を言っていてよかった。

3 担当大学生の感想・コメント

- ・発表の準備では、みんなと協力してワークができて楽しかったです。
- ・緊張している子もいたと思いますが、だんだんと意見をたくさん出せるようになりましたね。
- ・大人では気づくことができない見方からの意見があつて、聞いていて面白かったです。

4 西東京市からのコメント

e スポーツ大会について

児童青少年課からのコメント

e スポーツをやりたいと思う子が多いので、人気のイベントを児童館で開催したいと思います。去年からは保谷柳沢児童館で試みに取り組んでいます。今後は、e スポーツをもっと多くの子どもが遊べるようにしたいので、たくさんのお友だちと一緒に楽しめるアイデアがあつたら教えてください。

スポーツ振興課長からのコメント

e スポーツは、世界的な大会が開催されるなど注目されていますが、市ではすでに高齢者の方が「フレイル予防」としてe スポーツを楽しんでいます。スポーツ施設には、eスポーツのための設備や機械はありませんが、設備機器等を持っている方々と相談しながら大会会場として協力できると思います。

流れるプール・温泉について

スポーツ振興課長からのコメント

流れるプールや温泉施設などは、レジャー施設として人気なので、市にもあれば魅力的で自慢の施設になると思います。施設を作るにはとても高いお金がかかりますが、基金という意見もありましたし、民間の会社が作ることに協力するなども考えられると思います。

産業振興課長からのコメント

温泉施設があるとみんなが集まり、楽しめる場所になると思います。民間の会社が温泉施設を作る時に協力することなどが考えられると思います。西東京市には、温泉施設はありませんが、銭湯が3か所あり、壁面など工夫が凝らされている、みんなで入れる広いお風呂があるので、ぜひ出かけてみてください。

裏もあります ➡

緑があるところについて

みどり公園課長からのコメント

緑が増えると、生活に様々な面でプラスの効果をもたらすので市としても大切にしたいと考えています。緑を増やすために、ある一定の大きさのビルやマンションなどの開発を行う時には、敷地の中に木や植物を植えてもらうルールを作っています。公園の水道は、確認したところ管理をされている方が蛇口を外して、取りつける予定はないそうです。

もっといろいろな本を読める場所について

図書館長からのコメント

落ち着いた環境の中で、色々な本を読める場所があることは、望ましいことだと考えています。ワイワイブランチのように図書館の計画を作っていて、これからの図書館の中心となる新中央館と地域館の将来像に必要な考え方、役割や機能などを考えています。また、「新中央館に必要な機能」として、「図書館の本棚を増やす、保存庫を置く、置いておける本の数を増やす」を目指す必要があることを書いて、実現に向けて考えていきます。西東京市にある6つの図書館では、みんなが学んだり、楽しんだりできる、様々な本を用意しています。西東京市では、1年間で約3万冊の本を買っていますが、もっと色々な種類の本を集めるには、本を買うためのお金や、本を置いておくための場所が必要となります。今後、新中央図書館のイメージの考えをまとめていく中で、今回ご意見をいただいた「もっと色々な本を読める場所」に近づけられるように図書館の大きさや広さと機能についても、考えていきます。

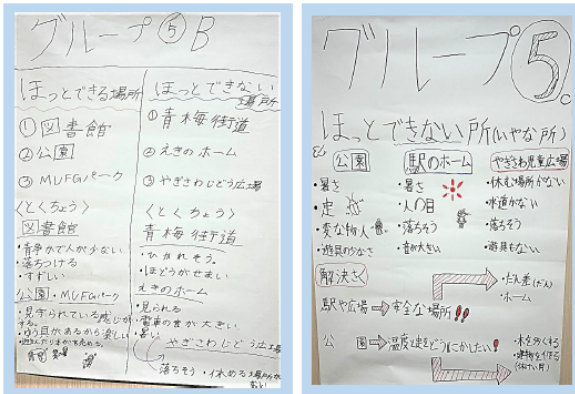
野原で馬に乗れるところについて

スポーツ振興課長からのコメント

乗馬は、パリ 2024 オリンピックの馬術競技で 92 年ぶりのメダルを獲得して人気があがついて、近くにあつたらとても魅力的なアイデアだと思います。馬を飼育するには、広い場所や騒音などの環境にもやさしい場所も必要となり、「野原で馬に乗れる場所」を新しく作ることは大変ですが、市内の東伏見には早稲田大学の馬術部が利用する馬場があり、毎年9月には「早稲田スポーツフェスタ」というイベントで乗馬体験なども行われていたもので、ぜひ参加して西東京市内でも馬とのふれあいを楽しんでください。



1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・きれいに、字が大きく、図やイラストを使ってわかりやすくまとめられていて見やすかった。(5件)
- ・ほっとできる、できない場所の特徴をたくさんあげていて良かった。(4件)
- ・いごちの良みにするための、解決策が具体的に書かれていて良いと思った。(2件)
- ・駅のホームがこわいのと同じだった。ホームに止まる電車が熱かったり、うるさかったりするの、大きいホームドアを設置してほしい。(3件)
- ・駅や公園など、身近な場所に注目してわかりやすかった。
- ・しずかなところが落ち着くという意見に共感した。
- ・ひとつのことだけでなく、いろいろなことをしたいと言っていたのがよかった。
- ・公園のいやなところで虫が出たが、その解決策が木の日かげだった。木が増えると虫も増えると思う。
- ・二人だけの発表だったのにすごいと思った。



3 担当大学生の感想・コメント

- ・Day2 から担当する大学生が変わってしまったけれど、たくさん話をしてくれてうれしかったです。
- ・みんながどんなことを考えているのか、たくさん意見を聞くことができました。

4 西東京市からのコメント

駅のホームについて

交通課長からのコメント

駅の落ちそうところに柵を立てて、もっと安全になるといいというのは、駅の持ち主である鉄道事業者、つまり西武鉄道との話し合いが必要のため、西東京市だけではなく、隣の市のみならずと一緒に鉄道事業者に要望しました。みなさんの意見の実現に向けて現在取り組んでいます。



公園・広場について

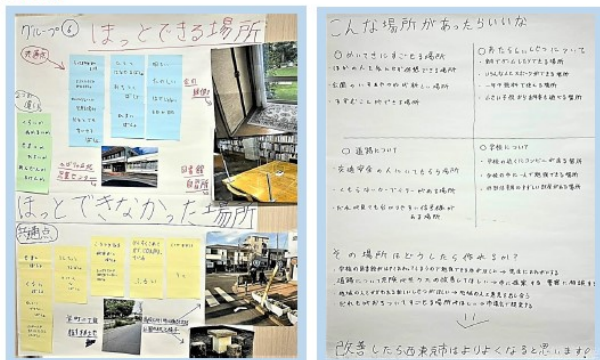
みどり公園課長からのコメント

市としても、公園は、暑さ、虫、変な物・人がいないようにしたいですし、遊具が少ないことを解決できれば良いと考えています。新しい公園を作るときや今ある公園をリニューアルするときに意見を活かしたいと思います。

柳沢児童広場は、段差をなくしたり、遊具や暑さを避けられる公園施設があったりして、もっと安全に利用できれば良いと思います。しかし、柳沢児童広場は、大雨の時に石神井川を流れる雨水が家の方にあふれないようにするために、一時的に雨水を貯める広場(調節池)の役割があります。そのため、段差をなくしたり、遊具などを新しく設置するのは、水の流れをじゃましてしまうことがあり、水を貯める機能の低下につながるの難しいと思います。



1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・写真もはってあってよりわかりやすかった。(3件)
- ・ゆっくり話しててわかりやすかった。(2件)
- ・細かく提案や対応(提案する人)をまとめていて、どうしたらできるかなどもくわしく書かれていてわかりやすかった。(5件)
- ・どうしたら良いか、具体的に書いて、地域と協力して物事をするという提案がよかった。
- ・ほっとできる場所に共感できる場所があった。誰にでもわかりやすい信号機は良い発想だと思った。
- ・お年よりのことも含めて話をしていたところが良かった。
- ・室内でゲームをできる場所をつくりたいという意見が良いと思った。
- ・グループ6の意見と違って、わたしはせまいところ(トイレなど)が好きです。一人で学習できる部屋があったらうれしいので作ってほしい。



3 担当大学生の感想・コメント

- ・最初はみんな緊張しているようだったけれど、DAY2からはしっかりと自分の意見を書いたり、伝えたりしてくれたので、とても良い話し合いになったと思います。たくさん考えてくれてありがとう!

4 西東京市からのコメント

快適に過ごせる場所について

環境保全課長からのコメント

快適に過ごせる場所の提案をありがとうございました。この猛暑の中で、涼むことができる場所の視点はとても大切であると考えています。市では、暑い日でも誰もが気軽に休める涼しい場所(クールシェアスポット)をみなさんにお知らせする取組を進めています。そして、お知らせできる場所を増やしていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

みどり公園課長からのコメント

快適に過ごせるように、他の人を気にせず休憩できる場所、公園のいすや屋根が新しい施設、涼むことができる場所があると良いと思います。新しく公園をつくるときや公園をリニューアルするときは、休憩できる場所の意見を活かしたいと思います。



新しい施設について

スポーツ振興課長からのコメント

スポーツ施設を通じて小さい子どもからお年寄りまで交流できる環境を作ることは、市も目指しています。市のスポーツ施設では、卓球やバドミントンを団体でも個人でも利用できるように開放していて、子どもだけでなく、いろいろな世代が利用することができます。

また、年齢や障害の有無に関係なく、誰もがスポーツと一緒に楽しめる環境づくりとして、ENJOY ニュースポーツやポッチャ大会などの交流機会をたくさん作っています。ぜひとも、みなさんもスポーツの交流機会に遊びに来て、スポーツを通じてお年寄りとも一緒に楽しんでもらいます。

児童青少年課長からのコメント

地域の方や年代を超えて関わる機会を作っていくことはとても大切なことだと思います。福祉会館と同じ建物に児童館が入っている場所もありますので、お年寄りとも交流したいというみなさんの気持ちを伝えるなどして、実現できるようにしたいと思います。

新しい施設について(つづき)

協働コミュニティ課長からのコメント

誰とも過ごすことができ、知っている人もいるような落ち着く場所は、子どもに限らず地域に住んでいる人たちにとっても大切な場所だと思います。そのような施設があると、地域住民の輪ができて、くらしの安心にもつながると市では考えています。市が施設をつくるときには、地域のいろんな人の意見を聞いてつくります。これからも、いろんな年齢の人が楽しめる場を工夫してつくってきたいと思います。

北町コミュニティセンター、東伏見コミュニティセンターには誰でも利用できるロビーがあり、子どもたちやお年寄りの集まり、学生の自習など、いろいろな年代にご利用いただいています。また、お祭りなど、誰でも参加できるイベントも行っています。消費者センター分館では、水・木・金に子どもたちが利用できるスペースとして、1階を開放しています。卓球やボードゲーム、読書、勉強などを行うことができますので、ぜひ遊びに来てください。

すでに新しい施設はつくれないかもしれないけれど、今ある施設のリフォームや建て替えなどにあわせて、みんなの希望をかなえたいです。しかし、お年寄りや元気な子どもが同じ場所で遊ぶと危ないという意見もあります。みんなが安心して、楽しく過ごせる場所をつくるには、ルールづくりなどの工夫も必要です。一緒に、みんなのほっとできる場所をつくりましょう。

道路について

道路課長からのコメント

カーブミラーは、設置されて時間が経つと古くなって曇りやすくなるため、カーブミラーの状況を確認して、新しいカーブミラーに交換しています。

もし、市が管理している道路やカーブミラーなどの道路に関係するものに不具合があった場合は、電話やメール、LINEの通報システムから市に連絡していただくと助かります。



西東京市公式 LINE による

★道路・公園等の情報提供(通報)システム★



交通課長からのコメント

自分になじみがある場所にほっとできるというのはよくわかります。こんな場所があったらいいという「誰にでもわかりやすい信号機」ですが、信号機の色分けは世界共通のもので、形は国(警察)の基準を決めています。国全体で、どのような方にとって何が使いやすいのか、どのような問題点があるか、などを話し合っ、国の方針として信号機の形を変更することになれば、さらにわかりやすい信号機にできると思います。

道路の危険な場所には、どんな危険があるのか看板を設置してお知らせしています。道路の危険の改善については、道路を使う人、移動をするみんなが、安全にルールを守って通行することが心がけることが一番大切だと考えています。

学務課長からのコメント

暗い、古い、危険ということを感じてしまうことがあるということに、教育委員会としてもっと気を付けていこうと改めて感じました。子どもの安全に関わることは、できる限り実現させていきたいです。今も、毎年の通学路の安全点検をして、標識や環境の改善などを行っています。また、交通保護員の方が登下校時の見守りもしています。

学校について

教育企画課長からのコメント

教育委員会では、小・中学校が学びの場であるとともに、児童・生徒の居場所でもあるため、落ち着いてゆっくり過ごすことができる心地よい空間を確保することが重要だと考えています。このため、「個人学習ができる部屋」や「外部活での休憩場所」のほか、みなさんが求めるスペースは、今後、小・中学校の建替えを進める中で、必要性などを確認し、学習環境・生活環境の向上を目指していきます。

社会教育課長からのコメント

学校の部屋は、学校の教育に影響のない範囲で貸し出しもしていて、希望する教室の使い道で利用できるかを調整しています。外部活の時に部屋を使いたい時は、団体の使用申請書に部屋の希望を書いてください。小学校ではランチルームも貸すことができる所もあります。図書館は学校に協力をお願いが必要であったり、教室の空き状況や学校内での位置により貸し出しをしていない学校もありますが、できる範囲で貸し出ししていますので、ぜひ利用してください。

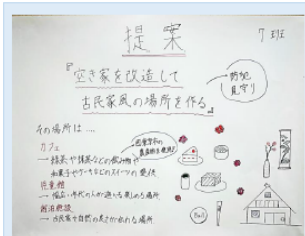
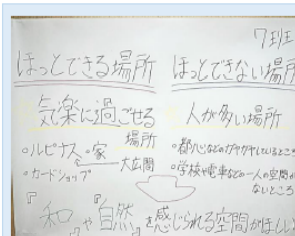
産業振興課長からのコメント

学校の近くにコンビニがあるといいなという意見について、西東京市には、実は、コンビニエンスストアが80店もあって(令和5年度)、近所の市と比べると多くある地域なんです。



西東京市子ども会議 グループ 7

1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・共通点や提案が具体的に、わかりやすい説明だった。(5件)
- ・イラストや図、色も使っていてわかりやすかった。(2件)
- ・めぐみちゃんメニューを使うなど、西東京市の良さを生かしているのが良かった。(3件)
- ・「ほっとできる＝自分らしくいられる所」という意味にまもっていいと思った。(2件)
- ・空家を活用して古民家風の場所を作るのはいい案だと思った。(6件)
- ・空家の活用は、地域の人と関わったり、いろいろな世代が使えて、利点が多くあってとてもいい発想だと思った。(3件)
- ・私も和や自然を感じられる空間が欲しいと思った。
- ・緑茶や抹茶などの飲み物やケーキなどのスイーツを提供するカフェの案が良かった。(2件)
- ・カードゲームが気軽に楽しめるのでカードショップが西東京市にもあったら良いと思った。

3 担当大学生の感想・コメント

- ・みんなが積極的に自分の意見を述べていたと思います。
- ・途中で、ファシリテーターがみんなの意見を聞くことに集中しすぎて、最後のまとめに向かうまでに時間がかかってしまったところもありましたが、みんなが上手にまとめて発表できたのがすばしかったです。

4 西東京市からのコメント

空き家を改造して古民家風の場所を作るについて

住宅課長からのコメント

空き家を利用すること、活用していくこととして、市役所として大変共感できます。みなさんの意見を実現するには、空き家の持ち主の希望や空き家の状態、使いたい人の希望などの条件を合わせていく必要があります。現在、市では、空き家の持ち主と空き家を利用・活用したい人をつなげる取組として、空き家バンクを運営しています。希望や条件が合う人をつなげていければ、みなさんの提案の実現に近づくと考えます。

児童青少年課長からのコメント

今ある場所を利用して、児童館のような楽しめる場所にしたいという視点は実現できたいと思います。また、「和」「自然」を取り入れた場所も子どもにとっていいと感じることもわかりました。今後、イベントを企画する際には、そのような場所で年代を超えて、工作や遊びができるように考えたいと思います。

危機管理課長からのコメント

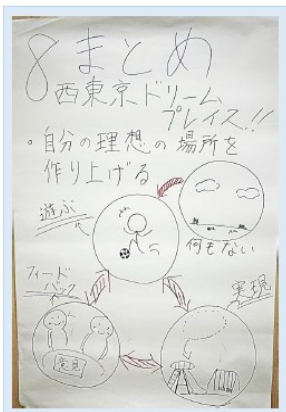
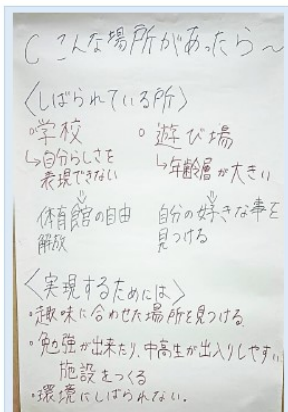
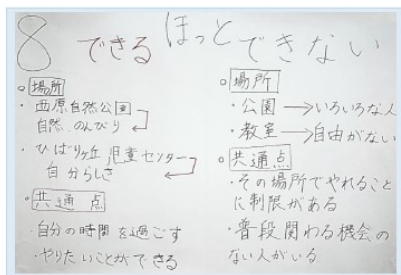
子どもたちの居場所づくり、保護者の方の交流の場ができることはいいことだと思います。防犯、見守りという観点で、市内で日ごろから防犯活動に取り組んでいる団体にカフェがあることをお知らせし、パトロールの時に立ち寄り安全を確認したり、休憩の場所として使ってもらえるのではないかと考えます。もし、地域の方での運営が実現した時には、危機管理課として防犯活動団体の方にお知らせするなど協力できることはあると思います。

産業振興課長からのコメント

めぐみちゃんメニューの活用を提案していただきありがとうございます。カフェなどのお店で、市内産の野菜等を使用したメニューができれば、めぐみちゃんメニューとして登録してもらい、みなさんに市内産の美味しい野菜などを使った料理を食べていただきたいです。



1 発表



2 他の友だちからの感想・コメント

- ・絵が大きく書いてあったり、色ペンを使ったりしながらの説明や、言葉の使い方が上手でわかりやすかった。(7件)
- ・ポスターに書いていないことも、くわしく説明されていてわかりやすかった。(2件)
- ・まとめたがとても上手だった。(2件)
- ・自分が好きなことをしたいという意見はたしかにそうしたいと思った。
- ・自分らしくできる場所がほとんどできるのは私も同じだと思った。
- ・「自分らしい」がとても大切なことだというのがわかった。そしてどうやったら自分らしくなるのかくわしく説明されていたのが良かった。
- ・「主体的に」→「自分らしく」という考えにつなげる発想がすごかった。
- ・「西東京市ドリームプレイス」の説明、利点は何かを自分たちで考えていて良かった。いろいろな人が楽しめそうで良い案だと思った。(3件)
- ・体育館開放は賛成です。ドッジボールで走ったり、建物の中から壁のある所で休けいできるので良いと思う。(2件)
- ・ほとんどできる場所に自然公園があって、ほとんどできない場所に公園があるのは、ほとんど同じだけど、違いがあるのかな?と思った。



3 担当大学生の感想・コメント

- ・グループのメンバー全員がとても積極的に意見を出してくれました。その結果、あったらいいなと思う場所は、子どもたちでつくっていく場所というすばらしい提案ができたと思います。

裏もあります ➡

4 西東京市からのコメント

体育館の自由開放について

教育企画課長からのコメント

教育委員会では、小・中学校は、児童・生徒以外にも利用される身近な公共施設であると考えています。このため、小・中学校の建替えを進める中では、施設内のゾーニング(することによって場所を分けること)といった、セキュリティ対策などを考えながら、教育活動に影響がない範囲で施設開放を充実していきます。

教育指導課長からのコメント

学校は安全な場所であることが大切です。体育館の自由利用は、学校に通っている子ども全員が自由に使うと、使えるスペースが狭くなってぶつかってしまい、けがなどの心配があるので、学校のみならず話し合ったり、ルールを作ったりすることが必要だと思っています。安全に自由に使えるようにするにはどうしたら良いか、皆さんの意見をぜひ聞かせてください。

趣味に合わせた場所・西東京ドリームプレイスについて

児童青少年課長からのコメント

児童館や児童センターで、趣味に合わせた場所作りや学習スペースをつくるのができれば良いと思います。みなさんにとって、自分の好きなことが見つけれられて、自分の時間を過ごすことができるのが心地よいというのわかりました。児童館や児童センターで自分の好きなことが見つけれられるお手伝いができたらいいなと思います。みなさんが、どんなふうに過ごしたいのかを知りたいので、意見を紙に書いてポストに入れられるような目安箱を児童館・児童センターにもっと広げていき、みなさんの希望に応えられる仕組みを作りたいと思います。

また、子ども自身で考えて、作って、また考えて、一緒にいいものを作り上げることはとても大切なことだと思います。今後、新しい児童館を考えるとときには、子どものみなさんと大人のチームを作って、より多くの声を聞きながら行いたいと考えています。ぜひ、アイデアを

ほとんどできる場所について

子育て支援課長からのコメント

今のワイワイプランには、子どもが自分らしく過ごして成長できますように、という私たちの願いを込めて、いろいろなことに取り組んでいます。

次の計画には、「自分の時間を過ごす」、「自分の好きなことを見つける」、「制限なく過ごせる」という意見を参考にして、子どもが自分の好きなことを見つけられるサポートにも取り組みたいと思います。



おわりに

見学者の感想(子どもの発表に関する内容)



- ・みんなが自分の言葉で話していたのは印象的でした。
- ・初めて会った子どもでしたが、積極的に意見を言ったり、相手の意見をきちんと受け止めたうえで自分の意見を伝えたりする様子が印象に残りました。
- ・誰かに頼むのではなく一緒にやるという意見が出たのがよかったと思います。
- ・居場所はいろいろですが、共通することとして「自分らしくいられる」、「好きなことができる」、「緊張しないで気楽に過ごせる」、「自分の好きなことを見つけられる場所」が印象的でした。
- ・特に、「何もない場所に子どもを呼んで遊んでもらって、何があったらいいかの意見を聞きながら自分たちで理想の場所を作って、また意見を聞いてまた作を繰り返す場」と話していたのがすごいなと思いました。子どもたちが主体的に自分からかかわって行けることを本当は求めているんだと感じました。
- ・自分たちの意見を発表するだけでなく、関わっていききたいという思いがあることに感動しました。
- ・自分がいつも感じていることを素直に意見していることが印象的でした。

計画への反映の方向性

今回、発表していただいた意見や取組の考え方などは、西東京市子育て子育てワイワイプランの「基本方針 子ども・若者の主体的な参加をすすめる」を中心に計画に反映していきます。反映した結果は、後日、お送りいたします。



集合写真



Day2 集合写真



Day3 集合写真



「いこいこ」
©シンエイ/西東京市

「西東京市子ども会議」実施報告書

発行年月:令和7年3月

発 行:西東京市子育て支援部子育て支援課
東京都西東京市南町五丁目6番 13 号

電 話:042-460-9841(直通)



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。